



Newsletter

65

特定非営利活動法人日本顎咬合学会 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-8-2 山京半蔵門バルス201 TEL 03-6683-2069 FAX 03-6691-0261

p2

第28回日本顎咬合学会学術大会

p19

メディア・センターの設立

p20 インフォメーション

}

Who's Who 見どころ聞きどころ

理事長 山地良子

センター長 佐山安夫

18

皆さんの力で盛り上げましょう! プログラムチェアマン 林 揚春

昨今の社会情勢が学会活動に及ぼす影響には大きなものがあります。長引く経済不況、いつまでたっても混迷を続ける政治情勢、新型インフルエンザなど、いくつもの社会的不安要素が絡み合っており、危機管理の重要性も考慮しなければならなくなりました。さて、昨年の第27回学術大会はこのような不安を一掃するように、4000名以上の参加者を得て盛会裡に幕を閉じることが出来ました。本学会の特色である臨床歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の会員の皆様から寄せられる本学会への期待が如何に大であるかということ、身を持って感じています。

第28回日本顎咬合学会学術大会のメインテーマは、プログラムチェアマンの林揚春先生により“Predictable Clinical Dentistry”ー予知性のある歯科臨床を求めてーと題されています。海外演者として歯周外科や歯科インプラントの分野で世界的に著名なデニス・ターナー先生やウィリアム・ベッカー先生、ソン・ドン・ソク先生を招聘し、最新のインプラント治療についてご講演いただくことになっています。歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士部門の講演企画も明日からの臨床に役立つ充実した内容です。またテーブルクリニックや有料ハンズオン、女性の為のプログラムも、林先生と若手プログラム編成委員の先生方が心血を注いだ本会ならではの企画ですので、必ずや参加者の皆様のご期待に応えうるものと確信いたしております。

第28回顎咬合学会学術大会に寄せて 学術大会に 参加しましょう!



特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 理事長
第28回日本顎咬合学会学術大会・総会 大会長
山地良子



今年度はNPO法人として公開フォーラムも企画しました。“かむことは食育の入り口”と題し、一般市民や歯科関係者を対象とした咬み合わせに関する健康と知識の普及に努めます。今年1月には咬合スコアをプレスリリースいたしました。これを更に広め、健康寿命に寄与する歯科の重要性をアピールし、国民への啓発とともに歯科界が元気になる学会運営をしていきたいと思っております。

歯科界は混迷の中にあるといわれ

ますが、ピンチをチャンスに変えるべく、広く国民に支持され、国民のQOLを高めるために時宜に合った歯科情報を発信し、歯科界の浮上につながる方策を企画していきたいと思っております。

第28回日本顎咬合学会学術大会では、会員の皆様のさらなるご要望に応えるべく役員一同鋭意準備に励んでおりますので、多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

第28回 日本顎咬合学会学術大会・総会

Predictable Clinical Dentistry

— 予知性のある歯科臨床を求めて —

日 時：2010年6月12日(土)・13日(日)

会 場：東京国際フォーラム

大会会長 山地良子

プログラムチェアマン 林 揚春

Who's Who

見どころ聞きどころ

皆さんの力で盛り上げましょう！



第28回 日本顎咬合学会
学術大会・総会
プログラムチェアマン

林 揚春

第28回学術大会もいよいよ目睫の間に迫りました。大会参加申し込みも順調に推移しています。

今回も実に多彩な企画が展開され、きっと会員の皆様のご期待に応えられるものと確信しています。中でも大会のハイライトのひとつである市民向け公開フォーラムは、人びとにとり今まさに旬の話題である食育をテーマとしています。社会との接点をどう構築するかは本学会においても大きな課題ですが、その一つの試みといってよいでしょう。私たちの医療目標が患者さんの健康と長寿にあることは、あらためて申し上げるまでもありません。そのために身体の健康を支える消化器官である歯を守り、良い咬み合わせで、良く咀嚼できることが健康と長寿に繋がることを患者さんだけでなく一般市民にも啓蒙しなくてはなりません。このことはこれからの歯科医療にとって最重要課題です。ぜひスタッフと一緒に参加しましょう。また有料ハンズオンもまだ若干空席がありますので、まだ申し込まれていない方はぜひ、お申し込みください。

プログラム委員会のメンバーが英知を集めた企画です。今回の学術大会を皆さんの力で盛り上げていきましょう。

6月12日(土) ホールC

特別講演

1 9:15 ~ 12:30



Immediate vs. Delayed Socket Placement
What we know, what we think we know and what we don't know

前歯部の審美性とインプラント
一何を知らなくてはならないのか?
何を学ばなければならないのか?—

デニス・ターナー

ニューヨーク・ブルックリンに生まれ、1968年にブルックリン大学にて生物学の学士号を取得する。その後、1972年にニューヨーク大学歯学部卒業。現在はニューヨーク大学歯学部、歯周病学・インプラント歯科学科の教授兼学科長を務める。米国歯周病学(AAP)より、荣誉ある「Clinician Award(優秀臨床医師賞)」を受賞している。言わずと知れたインプラントの分野では世界的に著名なドクターの一人である。

6月12日(土)

ホールC

13:30 ~ 17:15

歯科医師部門

予知性のある審美歯科修復を求めて
~審美歯科をさまざまな角度から分析する~

2

CR充填とセラミックインレー・
アンレーのケースセレクション

岡口守雄

CR充填のテクニックにおいて右に出る者がいない岡口先生。その華麗なインストゥルメントさばきや、芸術的な仕上がりはヨダレものです。今回は、審美修復における直接法VS間接法という興味をそそられるバトルが、ハイレベルで繰り広げられることでしょう。でも両者とも美し過ぎて、ますます症例選択が難しくなってしまうかも?とあえず涎を拭うタオル持参でご来場ください!

3

予知性のあるラミネートベニア修復を
求めて

貞光謙一郎

ラミネートベニア修復は、歯科用接着剤の進歩とともに普及発展してきましたが、その脆弱な材質ゆえに、破折や脱離といったトラブルと無縁ではありませんでした。その危ういラミネートベニアを長持ちさせる貞光マジックをとくとご覧ください! 今日からラミネートベニアに対する認識が変わるかもしれませんよ。

4

予知性のある審美修復を求めて
=成功するための軟組織へのアプローチ=

土屋賢司

審美修復という、つい歯冠形態や色調、修復材料等に目が行きがちですが、やはり周囲の軟組織あつての審美です。歯科医療の全てをハイレベルでこなすスーパーデンティスト、土屋先生ならではのティッシュマネジメントのワザを見せていただきます。きっとあなたの目から大きなウロコがパラパラと剥かれることになるはずですよ。

5

オーバーロード 荷重による
天然歯と修復物のダメージの臨床像

内藤正裕

ご存知、鉄壁の歯科臨床家、内藤先生の登場です。力によってもたらされる歯牙や修復物の経時的変化を、ダメージというネガティブな側面から考察していただきます。内藤流の鋭い観察力が、予知性のある修復物の具備すべき条件とは何かを明らかにしてくれることでしょう。壊れていく長期経過報告は非常にレアですので、若手歯科医師、歯科技工士必見ですよ!

ホール B7 左側

13:30 ~ 17:10

歯科技工士部門

咬合調整, 咬合様式(一歯対一歯, 一歯対二歯咬合など)
咬合面形態等を含めた実践的咬合調整について

6

スプリントを用いた咬合調整
~咬合調整は診断時からすでに始まっている~

山影俊一

日常臨床では、かみ合わせが原因で様々な症状が出ている患者さんが来院することがありますが、その対応には苦慮させられることがままあります。山影先生からは、咬合の問題点を見きわめるための診査診断時からスプリントを用いて咬合調整を行い、最終的に生理的な咬合関係を確立するまでの流れを分かりやすく解説していただきます。これをマスターすれば、あなたの臨床に余裕が生まれること間違いなし!

7

的確な咬合を与えるために
~ラボサイドの理論と実際~

山口周行

自他共に認める咬合器オタクのシュウコウ先生。咬合や咬合器について語らせたら、丸一日でも話題が尽きないはず。先生の膨大な知識に基づくエビデンスと経験に裏付けされた咬合論は、理路整然としつつも独自の理念を感じさせます。これを聞いたら、あなたも禁断のシュウコウイズムにのめり込むことになるでしょう。

8

Functionally Discluded Occlusion

桑田正博

いまさらご紹介するまでもない超カリスマ歯科技工士の桑田先生。お持ちの数々の肩書きを知らずとも、先生から発せられるオーラに、誰も圧倒されてしまいます。補綴や咬合のみならず、歯科医療全般にわたるその卓越した知識とセンスは、他の追随を許しません。今回は、桑田先生が考える理想の咬合様式とその調整法をお話くださいます。この賢沢な時間をぜひご堪能ください!

9

咬合面形態を咬頭嵌合位の
安定から考察

本多正明

当学会会員はいうに及ばず、歯科関係者で本多先生を知らない人はいないでしょう。先生の歯科医療に関する見識、技術には一分の隙もありません。本多先生こそ、歩くエビデンスと言っても過言ではないでしょう。歯科医療は、咬合に始まって咬合に終わるようになっていますが、経験を積んだ本多先生の咬合理論は、そのゴールを示唆しているはずですよ。これは聞き逃せませんね。

ホール B7 右側

13:30 ~ 17:15

歯科衛生士部門

長期例から予知性を考えた歯周病治療

10

観る、予測する、患者さんと一緒に
考え、共に治す 40 年の臨床経験から

谷口威夫

谷口先生は東京の押見先生、北海道の池田先生とともに毎年一回ヨクナルミーティングという研修会を泊まりがけで開催されています。そこではメインテーマは力としてのブラキシズムですが、サブタイトルには衛生士さんの共同作業としての歯科治療が見えてきます。氏の 41 年の臨床経験から歯科衛生士さんが医院の運営においていかに重要か？術者主導ではなく、チームとしての歯科医療が見えてきます。そこには患者さんを真ん中に置く診療姿勢がきわめて重要になってきます。

山岸貴美恵

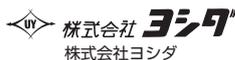
山岸先生は谷口先生のところの歯科衛生士さん。1980 年に谷口歯科に就職され、1990 年にフリーランスになられました。しかし 2005 年には再び谷口歯科に再就職されています。何故フリーランスから元の古巣にカムバックしたのでしょうか？かつてな推測ですが、一つの医院にいる最大のメリットは同じ患者さんを継続して何十年も見続けられることです。30 年という勤務の歴史はまさに財産です。どんな素晴らしい師匠や、本よりも患者さんの長期症例がすべてを教えてください。なぜならもし間違った術を行えば生体は見事に反応してくれず、長期症例これは是非とも若い先生に見ていただきたいです。

ホール B5 皇居側

13:30 ~ 17:15

メーカーシンポジウム①

エムドゲイン®ゲルを用いた
再生療法の可能性を探る



11

再生療法の現状と未来

町頭三保

日本歯周病学会指導医で鹿児島大学病院歯周病科の町頭先生に、再生療法の最新情報についてお話しいたします。ヒトリコンビナントのサイトカインを使用した FGF-2 による再生など次世代の再生療法だけでなく、臨床医に分かりやすいように科学的裏付けに基づいた再生療法を総括し、予知性を高めるためのポイントについて講演いただけます。

12

歯周組織再生療法の臨床活用と
その考察

林 美穂

テクニックセンシティブであると言われる歯周組織再生療法。その成功の秘訣を福岡県の林先生にお話しいただきます。大切なことは 2 つあるそうです。1 つは症例の選択基準とリスクファクター、もう一つは適切な術式とそのスキル。林先生に再生療法について evidence と experience の両面から考察を交えて講演いただけます。明日の臨床に役立つこと間違いなし。

13

エムドゲイン®の臨床応用
～歯周組織再生から GBR まで～

柴戸和夏穂

早いものでエムドゲインが日本に導入されて、もう 12 年も経つそうです。その間にエムドゲインの応用は、従来の歯周組織再生を目的とした使われ方以外に応用されるようになりました。ここでは船越歯科医院勤務の柴戸和夏穂先生に根面被覆やインプラントサイトの GBR への応用について症例を提示していただき、エムドゲインの効果を最大限に引き出すポイントについて講演いただけます。

14

歯周治療における
エムドゲイン®の位置づけ

武田朋子

高齢化の進む日本で歯周病は急速に増加し、歯周病治療の重要性はますます増大しています。その中で再生療法であるエムドゲインをどのように日常臨床で利用していけば良いのでしょうか？そこで東京都で早くから歯周病中心で開業なさっている武田先生に、豊富な経験の中からエムドゲインの有用性と汎用性について実際の臨床例を提示しながら講演いただきます。

15

歯周組織を考慮した審美修復治療

天川由美子

東京都の青山で審美修復治療に積極的に取り組んでおられる天川先生に、審美修復治療と再生療法について講演いただけます。近年患者さんの審美に対する欲求はますます向上していますが、歯周組織が健康な患者さんばかりが審美修復を望む訳ではありません。そのような困難な課題をどのように解決するか、治療計画の立案からその対処法まで再生療法を交えて講演いただけます。

16

矯正治療における
歯周組織再生療法の臨床応用

吉村理恵

矯正治療と再生療法について福岡県の吉村先生に講演いただけます。かつて歯周病患者に矯正治療をすることは禁忌と言われた時代もあったが、現代にあっては歯周病の患者にも積極的に矯正治療がおこなわれるようになりました。その中でエムドゲインをもちいた歯周組織再生療法をどう使えば良いのでしょうか？歯周外科と矯正のどちらを先に行うかなど興味深い話がたくさん聞けます。

ホール B5 ガラス棟側

13:30 ~ 16:00

ケースプレゼンテーション

「デニス・ターナーに聞く、
インプラント補綴」

17

多数歯欠損症例における
インプラント埋入のポジショニング
および補綴デザイン

鈴木玲爾

鈴木先生は UCLA 歯学部で研鑽を積み、今後の歯科界を牽引していくであろう、新進気鋭のインプラントロジスト。上顎前歯部を含む多数歯欠損を有する 2 症例について、的確な診断と卓越した外科手技に裏打ちされた、非常にレベルの高いインプラント外科・補綴を解説していただけます。Takei 先生も認めたその実力にターナー先生もびっくりすることでしょう。

18

Biology を考慮した前歯部を含む
インプラント補綴

神作拓也

ハーバード、ニューヨーク大学にて最先端の高度なインプラント治療を学んだ演者が、非常にハイレベルなコンセプトのもとに咬合崩壊したケースに対して、積極的なサイナスリフトや GBR などの骨造成を併用して、インプラント・天然歯混合での補綴再構築を行った症例について考察を交えてご紹介いただく予定です。

19

インプラント治療の
成功率向上をめざして

藤井秀朋

医科ではその有用性が広く知られる物理刺激療法を、日本で最初に歯科に導入したこの分野のパイオニア的存在である演者が、低出力超音波パルス療法による骨再生促進効果をもとにした、インプラント治療の成功率向上に対する最新の知見について、実験的研究と臨床結果を交えて報告いたします。とても興味深い内容だと思います。

20

● 重度歯周疾患に対してインプラントを用いて咬合再構成を行った症例

● 鶴飼 誠

● 歯周病の世界的権威である UCLA の Henry Takei 教授の熱いスピリットを伝承し、兵庫県でハイレベルなインプラント歯周病治療を実践されている鶴飼先生が、重度歯周病により咬合崩壊した難症例に対して、インプラントを用いての咬合再構成を行ったケースについて、治療計画から補綴まで、その素晴らしき臨床をご紹介します予定です。

21

● インプラント補綴における治療計画

● 中山隆司

● インプラント治療において、治療計画は治療全体と最終のゴールを決定づける最も重要な位置を占めると考えられる。今回は、咬合支持数を著しく失ってしまった上顎前歯崩壊症例を提示し、診断、治療計画、及び補綴設計基準に焦点を絞り、治療を通じての各ステップ、そして治療期間における患者の QOL を可及的に落とさせないインプラント治療戦略についてご報告いたします。

ガラス棟 G502

13:30 ~ 17:15

● もう一度整理する「接着編」

22

● 審美歯科を支える接着歯学
● -その基礎と臨床テクニックの実践

● 宮崎真至

● 臨床大好き! 宮崎教授は、エビデンスベースの接着理論の解説はもとより、CR による審美修復のテクニックも超一流です。今回は、CR を長持ちさせるために必要な接着耐久性に影響を及ぼす因子について解説していただきますが、CR 充填の仕上がりにも注目ですよ。近年、ボンディング材の操作がすこぶる簡単になりましたが、接着のメカニズムはそう単純ではないことを理解することは、臨床の質を高めるためにきっと役立つはずです。

23

● 最高の接着：材料選択、
● 歯の切削法および使用方法

● 田上順次

● 歯科用接着材の進歩は、象牙質接着の進歩といても過言ではないくらいに、象牙質は研究者を悩ませてきた材質でした。いま、その象牙質接着を手中に収めた私たちは、接着に関する不安から開放されたかに見えましたが、まだまだ接着には不安定要素が存在するようです。田上教授からは、最高の接着を得るために必要なポイントを分かりやすく解説していただきます。

24

● 部位・窩洞別に観た接着材の
● 選択基準と使用方法

● 松本勝利

● CR による審美修復を得意としている先生方の共通点は、診療に対する姿勢が超マニアック(オタク?) などところですが、演者の松本先生も例外ではありません。なんと、窩洞の条件によってボンディング材を使い分けているというではないですか! なにやら歯科医師よりもメーカー関係者が大集合してしまいましたが、オタクではない先生にもきっと役立つ情報が提供されるはずですよ。楽しみに!

ガラス棟 G510

13:30 ~ 17:15

● MTM のニュートレンド

25

● インプラント前処置としての M.T.M.

● 渡辺隆史

● 福島県いわき市で開業されている渡辺先生は、国内外で広く活躍されています。UCLA 矯正科の宮下邦彦先生や歯周病科の Henry Takei 先生らに師事し、2004 年には UCLA 歯周病 & インプラント研究会の会長に就任。また、長年にわたりスタディーグループ「いいづな総合歯顎研究会:ITDC」の主宰を務められるなど、多方面にわたりその手腕を発揮されています。

26

● MIA (Micro Implant Anchorage)
● を用いた MTM

● 高橋正光

● [MIA (マイクロインプラント矯正) 研究会] の代表、および「スタディーグループオルソ 2001」の代表も務められている高橋正光先生は、これまでも数多くの論文や執筆を積み重ねてこられました。その分野は矯正歯科のみにとどまらず、予防歯科や生活歯の漂白法など多岐にわたっています。また精神的に MIA の研修会なども開催され、MIA のさらなる普及にご尽力されています。

27

● クリアライナーの臨床応用

● 渡辺和也

● クリアライナー International Committee 認定講師。日本歯科大学の歯科矯正科の非常勤講師も務められている渡辺先生は、2005 年にハーバード大学歯科矯正学のスペシャリティレジデントプログラムを修了され、その活躍の場を海外にも向けておられます。現在は、従来の装置と比較して短期間で歯の移動が正確に行われる目立たない装置として広く知れ渡ってきたクリアライナーの臨床応用についてお話しさせていただきます。

セミナー室 1

13:30 ~ 17:15

● 食育シンポジウム

● 食育と噛ミング30(カミングサンマル)

28

● 口腔保健と食育
● ~各ライフステージの課題と対応~

● 向井美恵

食育推進会議専門委員

● 「歯科保健と食育の在り方に関する検討会」の報告書には、しっかり噛んで食べることの重要性を周知するために、一口 30 回以上の咀嚼を目標とする「噛ミング 30 (カミングサンマル)」運動が提唱され、食育を大きく 3 つのステージに分けて推進することを推奨しています。それらを詳細にお話頂く予定です。

29

● 「歯科発食育メッセージ」

● 武井啓一

日本歯科医師会食育・小児保健打合せ副委員長

● 近年の健康志向、安全・安心、自給率低下など食に関する様々な課題に対処し、その解決を目指した取組みが「食育」である。食育に積極的に関与することが、本学会の目標である「顎口腔系が健康に機能することは、心身ともに健康で豊かな人生を送るために不可欠である」ことの国民的理解の近道であるに違いない。演者の熱いメッセージをどうぞお聞き下さい。

30

● 国民健康・栄養調査成績等からみた
● 口腔保健と栄養摂取・食生活の関連

● 由田克士

独立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム 国民健康・栄養調査プロジェクト

● 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム 国民健康・栄養調査プロジェクトリーダーである演者が、厚生労働省が毎年実施している国民健康・栄養調査の中の、歯の健康(口腔衛生)に関する定期的な調査について、最近の主な結果等を示すと共に、食育を推進する意味から、このことと栄養摂取・食生活の関連を考察して頂きます。

31

● ライフステージに対応した
● 『食べ方』支援
● ~『食べ方』に関する研究から~

● 武井典子

日本歯科衛生士会副会長

● 今回の発表では、厚生労働科学研究「口腔保健と全身の QOL に関する研究(代表研究者 花田信雄)」の石井拓男班「咀嚼と肥満の関連性に関する研究」の協力研究者として演者が長年行ってきた研究を中心に『食べ方』支援の必要性和その実際を、1) 学齢期、2) 成人期、3) 高齢期、それぞれのライフステージ別にご紹介していただく予定です。

32

●学校における食育からみた
●歯と口の健康
●一よかんて元気モリモリー

山崎富江

中学校栄養教諭

●平成17年度に施行された栄養教諭制度は、児童生徒の食生活の乱れが深刻化する中で、学校における食に関する指導を充実し、児童生徒が望ましい食習慣を身に付けることができるように新たに設けられた制度です。栄養教諭として実際に実践されている指導事例についてご紹介頂きます。

セミナー室2

13:30～17:15

輝く女性になるために

33

●夢を叶える歯科医院
●仕事を通して自分の夢を叶える力をつける

成田信一

●エンジニア、パイロット…そして迷った末に歯科医師になられたという成田先生は、東京医科歯科大学附属病院矯正科で8年間の研鑽を重ねた後、自由が丘に「自由が丘矯正歯科クリニック」を開業。クリニック内でさまざまなイベントを開催したり、患者さんに多くの情報を提供されたりと、活気溢れる歯科医院の様子が手にとるように伝わってきます。そんな成田先生に「仕事を通して自分の夢を叶える力をつける」ノウハウをお話しいただきます。

34

●モテる！ スタッフ育成セミナー

岩淵龍正

●歯科医院経営コンサルタントとしても著名な岩淵先生のご手腕で、国内の多くの歯科医院を「地域で一番の医院」に変貌させてきた実績があります。しかもそれらの医院は、業績が一時的に伸びただけでなく、スタッフとの信頼関係を取り戻したり、仕事への充実感、スタッフの仕事への満足度、院長の幸福感が圧倒的に以前より増しているということです。ブログでも、毎日の歯科医院経営コンサルティングの中で得たノウハウ、アドバイス、成功法則、感じたこと・気づいたことを日々更新されています。

35

●意志ややる気は関係ありません！

●あなたも続けられる

●「続かない女のための続ける技術」

石田 淳

●社団法人行動科学マネジメント研究所所長のみならず、株式会社ウィルPMインターナショナル代表取締役社長兼最高経営責任者、財団法人日本文化余暇振興会（所管：文部科学省）監修・認定、および「行動継続技能認定講座」理事と、多岐にわたるグローバルな活躍をされています。今回は、3日坊主にならず、ずっと続けたい仕事を続けていくことができる「技術」をお話しいただきます。

6月13日（日）

ホールC

9:15～12:15

公開フォーラム

かむことは食育の入り口

～幸せをかみしめて!!～

「よくかめば、キレない、ボケない」

36

●食卓の向こう側に見えるもの

●～命の入り口 心の出口

●だから食育なんだ

佐藤 弘

西日本新聞社
編集局編集企画委員会

●「食卓の向こう側」を連載し、大反響を呼んだ西日本新聞社編集局の論客。「噛む」の重要性、すなわち口が健康のシグナルであり、健康増進・維持の要の器官であることを痛感し、「口は、命の入り口 心の出口」との鋭い切り口で医療界に新たな問題提起をされている。当学会の今後の新たな方向性を示唆していただけることを期待しています。

37

●口の健康と食べる機能の発達

増田純一

日本顎咬合学会指導医
マスタ小児矯正歯科医院 院長

●保存・補綴を極めたら、口腔の健康は成長発育にありと痛感し、小児歯科専門医を取得された歯科界の逸材。「歯は命の柱」であり生涯にわたる口の健康指標「30・60・1200」を提唱されています。生涯にわたる健康の源は歯を中心とした口腔器官で食べることであり、3歳～6歳～12歳は口腔機能の成長・発育に重要な年齢であるとして、そのスタートの「3歳までに発達する食べる機能と乳歯」について、小児歯科専門医の立場から分かりやすく提言していただけます。

38

●噛めば噛むほどダイエット！

●～めざそう！噛ミング30～

武井典子

日本歯科衛生士会副会長

●近年、日本人の食習慣は大きく変化し、健康課題が顕著になってきました。平成21年に厚労省から公表された「歯科保健と食育の在り方に関する検討会」の報告書では、ライフステージ（乳幼児・学齢期、成人期、高齢期）別の食育推進を示しています。この検討会の委員でもある武井先生から、報告書にある一口30回以上噛むこと「噛ミング30」をめざす「よく噛む10ヶ条」を紹介していただきます。

40

●愛は食卓にある。

鈴木 豊

キュービー株式会社代表取締役社長

●わが国を代表する食品会社の立場から、噛むことの大切さ、より良く生きるための食事、食卓を囲む大切さ、などを力強く提唱されています。人が健康で、人生を楽しみ、他人と楽しく生きることにおいて「噛む」ことがいかに大切であるかを、一流財界人の鋭い感性、洞察力、経営感覚により歯科界に提言していただけます。マヨネーズ、ジャムだけでなく、介護食に取り組みキュービー（特製品作りの優しさが理解できるでしょう）。

39

●学校における食教育と

●かんで味わう楽しい食事

石井克枝

千葉大学教育学部教授

●最近、食育という言葉をしばしば目にしますが、その内容について意外と知られていないのが実情です。そこで、食育の2つのポイント、すなわち第1は栄養教育と結びつけられる食教育、第2は食材の性質と調理方法とおいしい食事を味わうことについて教えていただきます。味わう楽しい食事は、味、テクスチャー（硬さ・粘り・口触り：触覚）が2大要素ですが、なんとといっても、かむことが成長発育段階にいかにか重要かをお話しいただきます。

41

●口から食べることは生きること！

●長期間の中心静脈栄養が

●口腔および全身機能に与える影響

塚本末廣

●医科で多用される中心静脈栄養法（IVH）は、高カロリー輸液のみで栄養管理を完全に維持する方法です。反面、口から食べ、味わい、消化する機能を奪われることで、日常生活に生還する機会が大幅に少なくなります。IVHを止めて、口から食べることで社会復帰させた経験を持つ福岡歯科大学・塚本准教授の講演は「地獄からの生還」そのもので、IVHとはいかなる経過をたどるかを知り、現代医療の盲点と、口から食べることの重要性を考えます。

13:30～16:30

シンポジウム

第3の要因としての力

42

●「力が関与する様々な病態像」

●～その診断は間違っていないか？～

鈴木 尚

●この人を知らない人はいないほど当学会では有名な人です。中央区で大規模にご開業され若手の先生を多数育成され非常に教育熱心な先生です。ナオ歯科クリニックを築立った先生方も最近では学会の中心的な人もいらっしゃいます。一般臨床での論文も多数書かれています。特にパーソナルデンチャーには造詣が深い方です。今回は第3の要因としての力をテーマにご講演していただきます。最近「力」に関してはいろいろな人が問題定義されていますが、ナオさん流に華麗にこの問題を解決していただきたいと思います。

43

長期経過例から見た
インプラント補綴後の力の影響

武田孝之

ITI インプラントと言えば武田先生、武田先生
と言えば ITI だったはず。しかし今や HA イ
ンプラントカルシテックの講演者。開業医の
特権です。メーカーに固執せずすべては患者
さんのために自分の思ったものを自由に使い
える、これは鉄則です。さて今回はかつまり咬
合力、ブラキシズムの力、クレンジングによ
る力をインプラントロジシストの観点から検
証していただきます。いまや埋入の方法のよ
うな外科的な手法から内容的に補綴中心の話
題に移行してきています。武田先生ならではの
長期症例をご発表願います。

44

メカニカルストレスは咬合の要
—力の病態学—

井上 孝

井上先生と言えば東京水道橋の東京歯科大学
の病理の教授です。武田先生とはインプラ
ントの病理についていろいろな本に投稿されて
います。インプラントを一般臨床家ではなく
病理学者の立場から解説してくださいませ。
インプラントは生体にとって異物でありそこ
には常に炎症性反応が生じていると思われま
す。そして骨の炎症部位には必ず破骨細胞が
存在し、インプラントには常に脅威となって
いる。もしそこに力としての外力すなわちメ
カニカルストレスが加わるとどうなるのか？
病理学者の立場から検証していただきます。

ホール B7 左側

9:15 ~ 12:15

海外招聘講演

46



GBRを検証する
Guided Bone
Regeneration: From
Concept to Reality?
Are These Procedures
Necessary for Clinical
Success??
骨再生誘導法: 概念から現実へ
—このような処置は
臨床的成功に必要なか?

ウィリアム・ベッカー

ワシントン大学客員教授。骨再生誘導法(GBR)
及び組織再生誘導法(GTR)は歯周病及びイ
ンプラント歯科で約20年間使用されている
が臨床家や企業はこれらの材料を永続的に使
用し続けているが、疑問が残る?そこで本発
表では、根拠に基づいた(Evidence-Based)
アプローチを用いて、インプラント歯科学で
GBRが適用可能な場合の根拠、適応症、及び
その限界について紹介していただきます。

13:30 ~ 16:00

LIVE OPE

ピエゾエレクトロニック・デバイス

47

ライブオペ: 低浸襲で失敗しにくい
サイナスリフト
~ピエゾエレクトロニック・デバイスを用いて~

嶋田 淳

日本が世界に誇る天才口腔外科医・嶋田教授
のライブオペを今年も見ることができて幸せ
です。今回は、ピエゾエレクトロニックデバ
イスを用いた、インプラントのための骨造
成・骨移植の症例をご紹介します。淀みの
ないメスさばきと驚異の縫合術。その手際
の良さスピードは圧巻です。ぜひお見逃し
なく!

48



Minimally Invasive Sinus
Augmentation using
Ultrasonic Piezoelectric
Vibration and Hydraulic
Pressure
ピエゾの水圧と振動を
用いた侵襲の少ない
上顎洞挙上術

コメンテーター&講演
ソン・ドン・ソク

通訳: 黄炳珍 (コウ・ヘイチン)
大邱カトリック大学校歯科および口腔顎顔面外
科教授兼学科長。先生は ICOI 韓国、韓国口
腔インプラント学会の初代会長を歴任された韓
国インプラント界のトップデンティストで、ピ
エゾサージェリーの分野でも世界的権威です。
本講演ではピエゾエレクトロニックデバイスと水
圧を用いた上顎洞底挙上術(HPISE)をご紹
介いたします。この術式は、骨移植の有無に
かわらず、患者に対して最小限の侵襲処置で
側方アプローチによる上顎洞底挙上術の代替
となるので、とても有効な方法だそうです。

ホール B7 右側

9:15 ~ 12:15

総義歯における人工歯排列を再考する

49

歯槽頂間線法則では
対応出来なくなった総義歯難症例
—臨床では? 教育現場では?
— どうしている? どうすべきか?—

加藤武彦

顎堤吸収が高度に進行している無歯顎の難症
例が増加していますが、これらの症例は従来
の Gysi 法では解決できません。天然歯のあ
った位置に人工歯排列位置を求め、研磨面形
態を追い込むことで患者の満足度の高い総義
歯が完成する—すなわち、究極のニュート
ラルゾーン理論です。加藤先生の情熱は、燃
え盛っています。先生の熱いメッセージをご
堪能あれ。

50

“無歯顎歯列構成に対する
考察とその手技”

阿部晴彦

無歯顎症例の診査、診断、治療において高
度なシステムを構築された日本を代表する重
鎮。歯槽頂間線法則の全盛時期から、天然歯
の立位置を解剖学的に検索し、ニュートラル
ゾーンを応用し、すぐれた床翼形態を付与す
ることで患者の満足度の高い総義歯臨床を
実践されてきた先駆者です。多くの優秀な門
人を輩出された指導者でもあります。悩める
歯科界に広い見地から提言していただける
またとない機会です。ご期待ください。

51

人工歯の排列位置を再考する
—脱 歯槽頂間線,
顎堤の状態をどう捉えるか—

黒岩昭弘

歯槽頂間線の法則は総義歯臨床の入門の基
準としては重要です。しかし、臨床の現場
では高度に顎堤吸収した無歯顎患者が増
大し、この法則や舌側に力を加えて義歯を
安定化させる人工歯排列法では多くの問
題、障害が生じており、患者満足度の低
さの原因ともなっていると考
えざるを得ない状況もあります。そ
こで、当学会の理事でもある黒岩教授に
は、歯槽頂間線の法則の問題点などを、
補綴学の立場から鋭い目線で指摘して
いただきます。

12:30 ~ 13:30

ランチョンセミナー①



52

インプラント上部構造としての
CAD/CAM の応用とその注意点

飯島俊一

東京歯科大学インプラント科臨床教授
である飯島先生にはボーセレンの破折
については、CAD/CAM用の新しい材
料である、2ケイ酸ガラスセラミック
の使用により従来の陶材焼付冠の強度
の約4倍の強度を得ることができ
るようになりCAD/CAMの利点を最大
に生かすことができる。今回
STRAUMANN CAD/CAMの応用と注
意点について講演していただきます。

13:30 ~ 16:30

レディースプログラム

かづきれいこトーク&メイクデモ

53

いつまでも笑顔が作れるメイク法
顔と心のバランスメイク

かづきれいこ

「リハビリメイク」とは、外傷や疾
病によって外観に損傷を負った人の
社会復帰を支援するためのメイクア
ップです。今回はかづきれい先生の
提唱するリハビリメイクは、患者が
満足する美をもち、患部を受け入れ、
社会復帰を促すことを目標として
いる点で異なるという観点から、
非常に興味深い講演を是非聞いて
ください。

54

『白い歯・歯美人・素顔美人』
一歯を白くするのが審美歯科？

田島菜穂子

審美歯科は歯の色・形の表面的な美しさをつくる一般的なには言われていますが、田島先生は本来は患者様がもっているその人らしさを導きだし、機能をも含めた健康的な美しさ（健康美）を表現する歯科と提唱しており、審美歯科において歯科衛生士が関与する部分は多々あり、歯科衛生士の存在意義が重要であるという観点からわかり易く講演していただきます。

55

『若返り！モデルスマイル塾』
一表情筋訓練を取り入れた MFT –
愛され笑顔をつくる
モデルスマイルエクササイズ

石野由美子

表情筋&美容研究家の犬童文字先生のもと「フェイスニングR」を学び、公認講師資格を取得し、現在は歯科衛生士の立場からMFTに表情筋訓練を取り入れた「モデルスマイルエクササイズ」と「ガムを用いた咀嚼機能訓練」を考案し実施している石野先生に歯科の目的でもある正常な口腔機能の習慣化について詳しく講演していただきます。

ホール B5 皇居側

9:15 ~ 12:15

メーカーシンポジウム②

審美と咬合の調和を求めて
補綴・インプラント・歯周・矯正
のための咬合の重要性臨床の
疑問に答えるオクルージョン講座



56

前歯の審美補綴における
アンテリアガイダンスの作成方法

石川 明

石川先生は東京都練馬区の大家学園でいしかわ歯科医院をご開業されており、インプラントはブローネマルクインプラントのインストラクターでもあります。EBMとNBMを両立させて診療をおこなっており、また大規模に経営されて若手の先生方の育成にも御熱心です。著者が増患増収の予防歯科医院作りやナラティブに基づいたデンタルコミュニケーションなどがあります。このセッションでは前歯の審美補綴におけるアンテリアガイダンスの作成方法についてご講演していただきます。

田村勝美

田村先生と言えば故保母先生の片腕として国際デンタルアカデミーの歯科技工士部門を率いてこられた方です。サイバーホビーやそれを使ったツインテーブルによるリコンストラクションはあまりにも有名です。ピーターKトーマス先生のワキシングを忠実に守られその発展系としてこのツインテーブルが完成しました。現在はセレック3の臨床用のセミナーやステインングの講習もなされています。今回は歯科技工士の立場からアンテリアガイダンスの製作法やその重要性について語っていただきます。

広範囲の審美補綴における

咬合平面の決定法

小川洋一

小川先生はインプラントで非常に有名な方で数多くの歯科雑誌に投稿されています。一般の開業医ですが、CTなどの読影にもたけており、とくにブローネマルクインプラントシステムの術式において非常に経験が豊富です。今回は広範囲の審美補綴における咬合平面の決定法と題してご講演おねがいします。咬合平面はなかなか指標がなくなかなか決定しづらいですが、小川先生独自の洞察力を駆使しての何がしらの決定法を見せていただけることでしよう。

咬合と審美の融合

- ①審美治療に予知性をもたせるための咬合の要件について
- ②審美治療における顎関節症への対応と鑑別診断法

岩田健男

もと保母先生の元国際デンタルアカデミーの研究部長をされ、本学会のもと理事長も務めあげられてきた岩田先生。サイバーホビーF3システムという電子的下顎運動計測機械の開発には多大なる尽力をされた方です。最近には独自にセミナーを多数立ち上げられて若手の育成にも非常に熱心であられます。デンタルダイアモンド誌の3月号には岩田卓也先生と共著で歯周組織を考慮したマージンの位置設定と歯肉圧排という題で投稿されています。参考までに講演をお聞きになりたい方は事前に読んでみてはいかがでしょうか？

12:30 ~ 13:30

ランチョンセミナー②



57

究極の審美修復への挑戦
~predictable and productive approach
to excellent restorations~

高橋 登

歯科界きってのイケメン歯科医、高橋先生の登場です。先生はルックスのみならず中身もスゴイ。高橋先生の手にかかったら、CRが本物の歯質になってしまいそう。これぞ高橋マジック！ランチを食べながら、究極の審美修復にも舌鼓を打てるなんて、こんな贅沢なプログラムは他にはないはず。なにやら女性で一杯になりそうですが、男性も遠慮せずどうぞ。

13:30 ~ 16:30

メーカーシンポジウム③

これで納得！抜歯即時埋入の
「なぜ？」に答える」

~陥り易い臨床の落とし穴ワースト20~



58

シンポジスト
林 揚春, 森田耕造
吉竹弘行, 末竹和彦
鈴川雅彦

「治療期間の短縮」「外科的侵襲の軽減」やっばり即時埋入の利点は捨てきれません。しかし「失敗したという話も聞くし…」とまだ不安に思っている先生も多いのではないのでしょうか？そんな先生方の疑問に、我が顎咬合学会の林先生を筆頭にジジマーの講師陣がお答えします。大阪府開業の森田先生、兵庫開業の吉竹先生、長崎県開業の末竹先生、広島開業の鈴木先生方が、何が正しくて何が間違っているのか明らかしてくれます。どうも埋入ポジションに秘密があるようですが、抜歯即時埋入インプラントを成功に導くためのノウハウを、実際の臨床上の疑問点を題材にしながらか検証していきます。乞うご期待。

ホール B5 ガラス棟側

9:15 ~ 12:15

シンポジウム

咬合治療を考える

~咬合から全身の健康へ~

59

力の不調和と症型分類
—ストマトロジーの観点から—

筒井照子

筒井先生と言えばかの有名な筒井塾の故筒井先生の奥様ですが、最近では筒井塾では塾長をつとめられて超有名人になってきました。もともとは矯正科を担当されお母さん歯科医としてご活躍でしたが、最近では咬合から全身まであつかうオールマイティーな先生です。筒井塾でも多種のコースを開催してたいへんにご活躍しています。特に力と全身との関係には研究が熱心で、今回は力の不調和と症例分類—ストマトロジーの観点から—で力説してくださいます。

60

健康や口腔機能を高めるための
矯正を用いた咬合治療

山地正樹

奥さまはご存じ理事長の山地良子先生ですが、ご主人は主に矯正を担当されヤマザキ歯科クリニックを開設されています。今回は健康や口腔機能を高めるための矯正を用いた咬合治療と題して咬合の重要性、それを確立するためには矯正治療が必要なことを述べていただきます。咬合治療と全身との関係ははまだ解明されておらず、アメリカではむしろ否定的になってきます。今回先生は矯正的に咬合治療をほどこした患者さんに全身咬合スコアで統計処理を行ない、明らかに優位差が見られたとの大変に興味深い知見を発表していただきます。

61

● 全身の慢性疼痛を有する患者
● (含 線維筋痛症) への歯科対応
● 咬合はいかにして全身疼痛を引き起こすか

● 山田貴志

九州の博多でご開業の山田先生は線維筋痛症のご専門でかなり成果をあげておられます。線維筋痛症とは全身の耐えがたい恒常的な疼痛とありますが、人口の約2から5パーセントがかかっていると推定されます。しかし医師にかかっている人の割合がとて少ない状態です。併発症としてはこぼり感や疲労感、睡眠障害、抑うつ感、自律神経失調、過敏性腸炎、ドライアイなどがあげられます。今回は歯科的なアプローチにて改善が認められた症例についてご講演いただきます。

62

● 骨格系を基準とした咬合による
● 顎関節症のリスクとは？
● -そのみわけかたとインプラントを用いた治療法-

● 大久保厚司

大久保先生は九州の佐世保で日宇歯科・矯正歯科をご開業されています。インプラントから矯正までオールマイティーにこなされており、まさにスーパー GP です。矯正学的な発想よりセファロ分析、また顎関節の立場からMRIの撮影も行っており総合的な分析が可能になってきています。今回は生体の骨格パターンによる分類や顎関節症のリスク、そしてそれぞれの症状に応じたスプリント、矯正、補綴、インプラントによる治療を見せていただきます。

63

● 機能咬合論に基づいた
● 歯科医療から見てきたこと
● 永井省二

永井先生は国立都城病院歯科口腔外科部長のち宮崎県都城市にてご開業されています。主な研究テーマは機能咬合論でこれは構造医学に基づく人の三大生理的要素は捕食、移動、生殖をあげています。また、顎口腔系の機能には発音機能、咀嚼嚥下機能、平衡機能などがあり捕食と移動に深くかかわってきていますと提唱されています。そして下顎位の模索はさまざま基礎資料から得られた情報を基に、姿勢制御に影響している全身の健康に良いところであると述べられています。真の下顎位はどこに存在するのか？発表が待ちどしいです。

12:30 ~ 13:30
● ランチョンセミナー④



64

● 最先端 CAD/CAM 技術による
● テーラーメイドインプラント補綴
● ~200種類以上のインプラント形状対応システム~

● 田中譲治

複数のインプラントに対応できる CAD/CAM はこれまでありませんでした。この課題を解決でき、従来の補綴概念と異なるテーラーメイドな上部構造ができる ISUS (アイサス) を用いて簡便で、経済的にパッシブフィットしたスクリュー止めの上層構造ができ、またリングデータが保存されるなど、臨床使用において多くのメリットを見出せるシステムの可能性を症例から検証し講演していただきます。

13:30 ~ 16:30

65

● 「親父の小言」に学ぶ歯科開業学
● 患者さんが減らないようにするために
● 私が歩いてきた道

● 河原英雄

若くして Gnathology を極め、当時は批判にさらされていた歯科インプラントを日本で初期に実践してきた歯科界の巨人。当学会の三位一体 (歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士) の基礎を作られ、さらに患者様中心の歯科医療とは何かをいまなお追求し続けています。顎口腔系の診査、診断、治療法の確立に基づき「口腔で、噛んで味わい栄養とすることが、人間らしく生きる力の根源である」と提唱されています。我々が患者様から感謝され、尊敬される医療人になるための「親父の小言」。入魂のレクチャーに心ゆさぶられるはずです。

ガラス棟 G502

9:15 ~ 12:10
● 治療計画からメンテナンス

66

● 矯正診断を基に立案した
● 前歯部審美修復の治療計画

● 松崎浩成

「矯正」はなにも「歯並び」を治すためにばかりあるではありません。前歯部の審美・機能の回復にとどまらず歯周組織の健康の回復・維持には、「適正な歯のポジション」が重要で、それには矯正が必要です。水戸市の松崎先生に矯正診断を中心に立案した治療計画についてお話いただきます。Minimal Intervention の考え方に興味のある先生にもお勧めです。

67

● 残存天然歯保存の可能性を探る

● 中島稔博

「抜くべきか？抜かざるべきか？ああそれが問題だ」全顎的治療計画にはいつも付きまとう問題です。CT やマイクロスコープの登場で抜歯の判断基準も随分下がっただろうが、保存すれば良いというものではありません。そこで、北九州市の中島先生が全顎的治療計画の立案が抜歯の判断基準に与える影響について、実際の症例を通してお話します。

68

● 咬合関係も考慮した審美修復症例

● 櫻井健次

「…奥歯がいいかげんだから前歯のメタボンがぐらぐら」残念ながら未だに時々目にする光景です。前歯部の審美修復を始める前には咬合・顎位の診査・診断そして臼歯部の咬合の安定は必須です。しかし、「言うは易く行う難し」そこまでのスキルアップは並大抵ではありません。そこで兵庫県で開業の大阪 SJCD 桜井先生にそのノウハウをお話いただきます。

69

● 顎位の保全を考慮した多数歯補綴症例
● 安光崇洋

顎咬合学会の真髓とも言うべき「1口腔1単位」の診査・診断そして治療計画。大阪 SJCD 新進気鋭の安光先生が「顎位の保全を考慮した多数歯補綴症例」を題材に、正確な資料採得からその分析と治療計画の立案、そして確実な処置の実行とメンテナンスについてお話します。若手デンティスト諸君、「インプラントの前に、まずはこれだー」。

70

● 「咬合再構築症例を振り返って」
● -治療計画からメンテナンスにおける問題点-

● 二階堂増彦

インプラント華やかかりし現代の歯科界ですが、高齢化社会を迎えた日常臨床では欠損補綴に義歯を選択することもまだまだ多いのではないのでしょうか？今回は福岡の二階堂先生に、咬合崩壊した患者さんの「再び美しく若返りたい」という希望に答えた症例を通して、咬合挙上・咬合再構成の難しさや義歯の設計およびメンテナンスの問題点についてお話いただきます。

12:30 ~ 13:30
● ランチョンセミナー⑤



71

● ~ LESS IS MORE ~
● インプラント形状から見抜く
● 各社メーカーコンセプト

● 米澤大地

兵庫県にてご開業。精力的に海外の学会や研修会にも参加されている若手のホープ。インプラントの前歯部審美修復のみならず、矯正用インプラントや、咬合学にも精通しておられます。インプラント治療を中心に、治療中心 (Cure) の医療から予防中心 (Care) の医療へとシフトしていく治療を目指されています。今回ご講演いただくアストラテックのインプラントのみならず、ノーベルバイオケア、バイオメット 3i、ストローマンなど幅広い選択肢をお持ちです。

13:30 ~ 16:30
● もう一度整理する「エンド」編

72

● エンドと共に考える補綴と咬合
● -エンドの本来の目的は-

● 平井 順

エンドと言えば平井先生、平井先生と言えばエンドというぐらい有名な方です。さまざまエンド用の器具も開発され平井式エンド用スプーンエキスカパーターや平井式オピアンキャリアーなど多くの先生がたが愛用されています。パーチカル根充剤においても「平井式ナチュラルガッター」を開発し天然成分のみのガッターパーチャーが完成しています。今回はその上部構造である補綴物の特に咬合に関してのご発表もあります。エンドを成功させ長期的にその歯を守るためには是非とも咬合が重要です。

73

● 歯内疾患の臨床診断と処置の要点

● 林 正規

● 林先生は以前にも日本顎咬合学会で発表されており、氏の歯内療法は①歯髄保存療法②抜髄、感染根管治療③外科的歯内療法④抜歯の中で基本は①歯髄保存療法であると明言している。また歯内療法は補綴のための基礎工事ではなく歯髄や歯周組織を治すことが重要である。まさしく患者さんに優しいミニマムな治療方法であると確信します。

74

● なぜ？上手く行かない根管拡大・形成！
● ー根管拡大・形成を振り返るー

● 山田邦晶

● 京都でご開業の山田先生はインプラントから矯正まで幅広く臨床を行っていますが、中でも歯内療法では非常に卓越した才能をお持ちの方です。デンタルダイヤモンド社の若手歯科医のための臨床の技 歯内療法という本を書かれています。また、本学会の学会誌にもアドバンスな根管処置にも使いたい7つのアイテムというタイトルで論文を書かれています。今回も根管治療についてとくに根管拡大と根管形成を中心に講演していただきます。

ガラス棟 G510

9:15 ~ 12:15

Hygienist ~今 この時代に~

75

● 「Hygienist の視点から」

● 池田育代

● 貞光歯科医院（奈良県）の主任衛生士を務める池田衛生士は、ホワイトニングコーディネーター、日本歯周病学会会員、歯科審美学会会員、SJCD 衛生士コースインストラクターと、精力的に活躍中のカリスマ歯科衛生士です。これまでも「DHstyle」や「月刊デンタルダイヤモンド」でも数多く執筆されています。講演内容や執筆内容もさることながら、その仕事観に対するコメントは特筆すべきものがあります。

76

● 十人十色
● ーそれぞれが求める事ー

● 鈴木朋湖

● SJCD 衛生士コースのチーフインストラクターであり、現在は「大阪審美歯科ホワイトニングプラザ」「かわさと歯科」「和久歯科」など数多くの歯科医院でフリースタッフとして活躍中のトップハイジニスト。患者さんの様々な“変化する希望”に対応する事が歯科衛生士の臨床であり、対応するために知っておくべき患者さんの情報や実際の対応について、色々な患者さんの流れを追いながらご紹介いただきます。

77

● 歯科衛生業務の専門性を
● さらに発揮しよう！

● 薄井由枝

● 米国シアトルに長年ご滞在され、東ワシントン大学歯科衛生学部卒業し、ワシントン州の歯科衛生士免許をご取得。さらには1999年にワシントン大学歯学部大学院の口腔生物学部の修士課程を修了されるなど、海外での素晴らしいご経験と実績をお持ちの薄井衛生士は、歯科衛生士業務というものが、どうやって社会のニーズに答えられるのか、またその専門性を深め、さらに発揮するためにはどう取り組めばよいのかについてご講演いただきます。

12:30 ~ 13:30

● ランチョンセミナー③

● 伊藤超短波株式会社
● 伊藤超短波株式会社

78

● 超音波骨折治療法（LIPUS）は
● インプラント治療の救世主となるか
● ~インプラント臨床におけるLIPUSの応用~

● 林 揚春、藤井秀朋
● 吉野 晃

● I. グラフトケースにおけるLIPUSの応用：藤井秀朋、II. 歯科臨床におけるLIPUSの応用：吉野 晃
● 超音波骨折治療法（以下LIPUS）とはパルス化した微弱な超音波刺激を非侵襲的に生体外から対象骨に照射することで骨折の治癒を促進し、治療期間を短縮するための技術で物理刺激療法の一つです。今回はインプラント治療において積極的にLIPUSを応用している藤井先生と吉野先生の2名にその有用性についてご報告いただく予定です。

13:30 ~ 16:30

● インプラントセラピーを再考する
● ~より良い上部構造を提供するために~
● ー上部構造のデザインおよび
● マテリアルセレクションー

79

● 審美領域におけるインプラント修復

● 高橋 健

● 最近、積極的に前歯部にインプラントが応用されるようになり、それに求められる審美性への要求も高くなっているが成功させるためには上部構造のみならず歯周組織のコントロールや埋入計画の重要性は非常に大きく、歯科技工士として、それらの知識の習得は勿論、治療計画への配慮が成功への大きな鍵となるため、今回は高橋先生に臨床例を提示しながらインプラントの周囲組織やインプラント埋入計画について前歯部シングルインプラントに焦点を当てて講演していただきます。

80

● ダブルクラウンを用いた
● 術者可撤式ブリッジを考察する

● 木村健二

● 日本歯科審美学会認定士でもある木村先生には、ダブルクラウンタイプの術者可撤式ブリッジの設計を多用して良好な適合を得ることができていると共に、デジタル技術を利用したCAD/CAMでも容易に良い結果が得られるようになったことから、インプラント上部構造でのダブルクラウンタイプの術者可撤式ブリッジ設計と、今後拡大するCAD/CAMに使用する素材について講演していただきます。

81

● リスクに応じた
● インプラント補綴の在り方
● ~ラボ・診療室相互の
● 必要性から生じた対応の変遷~

● 桜井保幸

● インプラント治療ではラボと診療室とで考えられるリスクを各ステージにおいて相互間で理解し合い、そのケースにおける適切な上部構造のデザインおよびマテリアルの選択を考えなければ治療を的確には進めることが難しいと考えられることから桜井先生には今回は、各ステージにおける注意点や治療の流れ、診療室からの必要な資料、その活用方法を臨床例を通して提示していただきます。

82

● All on 4コンセプトに基づく
● プロビジュアルレストレーションから
● 最終補綴物 PIB（プロセラ
● インプラントブリッジ）製作まで

● 八島宏文

● 株式会社 中田デンタル・センターの八島先生には手術後の即日アクリリックレジン製の固定式プロビジュアルを装着することによって粘膜面や咬合の修正・調整を定期的に行いながら、最終補綴物のガイドラインの指標にでき、最終補綴物で使用されるチタン製フレームは、CAD/CAMで製作されるため高品質で非常に軽量で上部補綴物は、セラミック・ハイブリットレジン・アクリリックレジンタイプを選択でき、患者の要望にも幅広く対応できる。スクリー固定による術式の利点を、製作工程とステップごとのテクニカルポイントをわかり易く講演していただきます。

セミナー室 1

9:15 ~ 12:15
HOW TO メンテナンス

83

もう治療の“おまけ”とは言わせない
山本浩正, 多田さくら
小松英理香

ご存知、ペリオオタク(失礼!)の山本先生登場。どっぷり半日コースです。近年、ようやく予防やメンテナンスの重要性が認知されてきてはいるものの、歯周治療においてさえメンテナンスは“おまけ”の存在になってしまっていることがあるようです。生活習慣病である歯周病の治療には終わりがけないため、良い状態を維持するためには延々と続くメンテナンスが最も大切になるわけです。今回は、メンテナンスを受け持つ歯科衛生士の小松先生と多田先生にお手伝いいただきながら、楽しくするための山本節を堪能させていただきます。

13:30 ~ 16:30
患者目線の歯科医院経営

84

財務データから読み解く
“患者が望む歯科医院”
角田祥子

社団法人医業経営コンサルタント協会歯科部会委員、および歯科医院経営研究会理事長を務められている税理士の角田先生。歯科医院の経営には様々な要因があるが、何を重点に行えば経済的な達成ができ、ES(スタッフの満足度)が達成できるかということがわかれば、経営という深いテーマへ取り組みがしやすくなります。それらの重要性和事例をご紹介します。

85

患者の視点から治療計画を考察する
石川 明

「患者の皆様のご満足が当院の喜び」という、いしかわ歯科医院院長の石川先生は、常に最新、最高の治療技術と奉仕の精神を持って口腔内の治療にとどまらず患者の皆様への健康につながるような歯科医療サービスの提供を心がけておられます。DHA(デンタルヘルスアソシエート)講師やブローネンマルクインプラント公認トレーナーなどを務めておられます。今回、患者の視点から再度考察して、歯科医師と患者双方がwin-winとなるような治療計画について論じられます。

86

患者心理から見る最近の紛争床例とその予防と対策
永松栄司

永松・横山法律事務所の永松先生は、歯科関係の紛争症例に精通しておられる数少ない弁護士の方です。昨今、医療の経営現場も二極化(セレクト歯科医とワーキングプア歯科医の格差)が進行していますが、その“格差”と医療内容に因果関係があるか否かは定かではなく、解決の鍵は「患者心理の真の理解にある」と述べています。今回は、過去の事例をもとに、如何に患者心理の理解が紛争予防にとって重要かを解説していただきます。

セミナー室 2

9:15 ~ 10:15
開業学セミナー 第一部

87

ハッピースタート ハッピーリタイア
不動産の資産形成

遠山光良

現みずほ信託銀行株式会社取締役社長、元みずほ信託銀行株式会社取締役副社長
医業を引き継がれる先生方にとって、非常に重要な課題となる事業承継について、今回は、みずほ信託銀行 取締役副社長並びにみずほ信託不動産販売株式会社 取締役社長でもある遠山先生に「有形資産である金融資産や不動産について、事業を引き継ぐ方と引き継がない方への財産配分にかかる事例」や「事業を引き継ぐ方からみた財産配分の要望事例」などを、「相続・遺言」の視点から、相続が争続にならないようにわかりやすくお話していただきます。

10:15 ~ 12:15
開業学セミナー 第二部

88

生涯顧客満足経営強みを活かして
違いを出せ!

竹村英雄

元アメリカホンダ副社長、NPO 法人顧客ロイヤルティ協会理事、財生産学習開発財団認定コーチ、TAKE COACHING OFFICE 代表
お客様にとっての価値は何か?と患者様に選ばれる時代です。こちらが変わってお客様の求めているものを超えなければお客様は去ってしまいます。そこで自分の医院の強み、スタッフの強みを見つけ活かしていけば、人と社会の可能性を広げていくことができるという観点から竹村先生に詳しく講演していただきます。

89

優良な医療は健全な医院経営の基で
成り立つ!!
~明るい歯科界の未来への提言~

高橋英登

人間にとって大切な歯科医療を再生すべく、まず歯科界がどのような状態にあるのかの現状を認識し、その原因を追究し、現在の歯科医療を取り巻く劣悪な環境の下で苦悶しつつも、患者さんのために自己犠牲を払いながら日々の臨床に取り組んでいる一般臨床家にとっての悩みをひもとき、解決策をお話していただきます。

13:30 ~ 16:30
私のコンサルテーションスタイル

90

患者さんにパラダイムシフトを与える
コンサルテーション!!

南 清和

南先生は明るく、楽しく、役立つ講演の名人です。主訴の解決のみならず、一口腔一単位の治療を行うことで患者さんに口腔治療の必要性を理解していただき、実感していただくことが健康回復、維持が成立するためには重要だと力説されます。今回は患者さんを信者にしてしまうコンサルテーションの奥義を伝授していただきます。

91

2010年義歯宇宙の旅

村岡秀明

総義歯治療における日本の第一人者で、誰もが知っている当学会の看板演者のお一人。情報機器の発達で歯科のコンサルテーションも大きく変化する時代を迎えました。総義歯分野において情報機器を駆使して、診査・診断・治療を行うとともに、術者の知識・腕前を患者さんに理解していただき、さらに実際に治療に参加していただいている様子をつぶさに伝授していただきます。2010年義歯旅行はさらなる宇宙を目指す。

92

私が行っているう蝕・歯周病予防の
コンサルテーション

景山正登

う蝕・歯周病が2大歯科疾患であることは、患者様も十分にご存知です。歯周病治療は、症状が出現してから治療ではなく、健康増進のために生涯にわたり、医療者側と患者様が信頼関係を構築した上で行う予防・治療です。その際、何よりも大切なことは、患者様の理解と参加していただく意欲です。その際のコンサルテーションを歯周病専門医の景山先生に講演していただきます。

93

PCを活用した患者への
ビジュアルプレゼンテーション

吉田秀人

明るく、優しい講演で大人気の吉田先生は、デジタル機器を駆使して、診査・診断・治療計画ばかりでなく、治療のゴールまで視覚的に提示して患者様の信頼を得ている達人です。治療後のイメージを示せることで新たなコンサルテーションの領域が成立します。こうして患者様の信頼と治療への積極的な参加により、術者—患者様のさらなる良好な未来が開けるのです。吉田先生の素晴らしいプレゼンテーションの方法と一緒に学びましょう。

94

歯内療法は臨床にでて第一歩から
ずーっとついでまわる分野です!

小嶋 壽

わが国のナソロジーの先駆者である故村岡博先生の愛弟子のお一人。言うまでもなく歯内療法は、歯科臨床のほとんどの局面についてまわる歯を長持ちさせるために必須の治療法です。患者、術者が納得できる診査・診断・治療を行うことが、最善・最良の治療効果を生みます。したがって、術前診査を十分に行い、時間をかけて多角的に診査することが重要です。村岡セントリックの伝承者でもある小嶋先生の歯内療法の本質にせまる講演を拝聴しましょう。

テーブルクリニック

展示ホール

6月12日(土)

セッション1 13:30~15:00(90分)

セッション2 15:30~17:00(90分)

テーブル 1

有料ハンズオン 1

H-1 セッション1,2

● Minimally Invasive Sinus Augmentation using Ultrasonic Piezoelectric Vibration and Hydraulic Pressure
● ピエゾの水圧と振動を用いた侵襲の少ない上顎洞挙上術

ソン・ドン・ソク

通訳：黄炳珍 (コウ・ヘイチン)

● 垂直骨量が少ない萎縮した上顎臼歯部歯槽骨にインプラントを埋入する場合、従来の側方アプローチや歯槽頂アプローチによる上顎洞底挙上術では、患者に術後の腫脹および疼痛を与え、治療期間が長期化する可能性があります。ソン先生の推奨するピエゾエレクトリックデバイスと水圧を用いた上顎洞底挙上術 (HPISE) では、患者に対して最小限の侵襲処置で済むので、とても有用性のある術式です。そのスーパーテクニックを伝授しちゃいます!

テーブル 2

有料ハンズオン 2

H-2 セッション1,2

● 「テクニカルブラッシング」
● ～アドバイスの幅を広げよう～

石原美樹

● 全国的に著名なフリーランスの歯科衛生士。著書もあり、「石原美樹ブラッシュアップセミナー」などをはじめセミナー講師としても幅広く活躍されています。全国各地で行われる彼女のセミナーはどれも半年～1年待ちということからも、人気と期待がうかがうことができます。スタディグループ KOKO 代表。「個々」が積極的に勉強に取り組み、それを臨床に生かしていこうとする歯科衛生士のグループを自ら立ち上げられた実績も持っています。

テーブル 3

偶発症①

T-1 セッション1

● 歯科治療時における
● 全身的考慮とその実際

龍田恒康

● 静脈内鎮静と全身管理のバイオニアで、著名な口腔外科医で麻酔科医でもある龍田准教授が、高齢化社会における全身的基礎疾患を合併する患者さんに対して、より安全で快適な歯科治療を提供するために重要な、全身疾患に対する知識と対応 (全身的・局所的対応) について、分かりやすく丁寧に、そしてとてもにこやかにやさしく、愛情たっぷり解説します。

T-2 セッション2

● オールセラミックス修復を
● 成功させる為のポイント

草間幸夫

株式会社モリタ

● シロナのセレックの操作ではこの人の右に出る人はいないでしょう。わざわざヨーロッパのリヒテンシュタインのイボクラ社まで行って研修をしてきた人で、まさにセレックの伝道者と言っても過言はないでしょう。最近ではインプラントの上部構造もセレックで製作するという万能のテクニックの持ち主です。JSCAD 研究会の副会長を務めており CAD/CAM の普及に努めています。西新宿歯科クリニックの理事長で多くの衛生士さんに囲まれて大規模に経営されています。

テーブル 4

歯内療法(エンド)①

T-3 セッション1

● 歯内療法における CBCT を用いた
● 根管の形態把握とその治療の実際

小山浩一郎

● SHILLA SYSTEM, トップダウントリートメント, オールセラミッククラウンなど多岐にわたるグローバルな執筆実績をお持ちのドクター。しかも今回の発表内容は、いままでとはさらに異なる CBCT を歯内療法に応用する際の効率的な情報の獲得と、それを踏まえた治療の実際について、臨床症例と合わせてお話しさせていただきます。

歯内療法(エンド)②

T-4 セッション2

● 根管治療を
● 困難治療にしないための対策
● - JH エンドシステム -

金沢紘史

● JH エンドシステムでおなじみ日本を代表するエンドドントティストの平井順先生のもとで研鑽を積み、現在は日本顎咬合学会の専務理事としてもご活躍の金沢先生が、効率的で安全かつ、困難ではなくスムーズに、確実な成果が挙げられる JH エンドシステムを用いての根管治療の概要について、内山先生とともに症例を通して臨床上のポイントを報告します。平井先生のデモもあるので必見です!

テーブル 5

インプラント・外科①

T-5 セッション1

● 骨移植を伴う顎骨吸収例に対する
● インプラント外科と新たな
● セメント・レス、スクリュー・レスで
● 着脱が容易な既成冠補綴法の
● 開発の概要について

下田恒久

● 今回は、演者のクリニックで採用している口腔外科を主体としたハード面の内容と術前準備、手術内容、術直後管理、術後の感染予防から理学療法への取り組みについて、また補綴物の作製に当たっては新しく開発したアバットメント・既成冠のシステムの詳細について報告していただく予定です。

インプラント・外科②

T-6 セッション2

● 暫間ミニインプラントは患者のQOLの
● 維持と顎口腔機能回復に有効である
● - 臨床を変える・新次元の包括的治療法 -

永田 睦

● 本セッションでは、暫間ミニインプラントの各領域での幅広い応用とその効用、さらに使用上の注意点などについてご紹介いただきます。「安全・確実で、より高レベルなインプラント治療の遂行」「外傷歯・歯の自家移植・保存治療領域での応用」「歯周治療への応用」「矯正治療への応用」「治療期間中の患者の顎口腔機能の保全と回復」「ミニインプラント応用時の合併症と留意点」など、内容は盛りだくさんです。

テーブル 6

インプラント・外科⑦

T-7 セッション1

● 歯周外科・基本事項の再確認
● ~切除療法から再生療法まで~

平井友成

● 平井先生は日本歯周病学会専門医、指導医。
● 歯周外科手術を手際よく効率的に行い、良好な結果に導くためには幾つかの押さえておくべきポイントがあります。歯周外科手術を、より日常臨床に取り込みやすいものとするため、切除療法・再生療法での症例を交えながら、歯周外科手術の重要ポイントについて詳しく解説していただきます。

インプラント・外科⑧

T-8 セッション2

● インプラント治療にも役立つ
● 切除療法、再生療法

水上哲也

● インプラント治療における1次手術、2次手術はどちらも歯周外科処置を応用できることから、1次手術では再生療法の手法が有効活用され、2次外科手術では切除療法や歯周形成外科の手法が有効活用される。今回のテーブルクリニックでは、1次手術、2次手術それぞれの場面で応用できる歯周外科（切除療法、再生療法）の手法について詳しく解説していただきます。

テーブル 7

歯科衛生士①

T-9 セッション1

● ベーシックアシスタントワーク
● (一番大切にしたい接遇の実際)

夏見真美

● 歯科衛生士に加え多くの資格をお持ちの夏見先生。歯科医院のホスピタリティは、患者様の体と心に温かい満足感を与えることと強調されています。夏見良宏前理事長と二人三脚で完成された「究極の接遇の実際」を体験しましょう。

T-10 セッション2

● 咬合に強くなるための
● “ツール”と“アイテム”使いこなし術

普光江洋

● Mr オクリュージョンとはこの人で、日本顎咬合学会誌咬み合わせの科学のDr フコエの咬合教室の連載はおなじみです。ウィーン大学の元教授スラパチックに咬合理論を叩き込まれてみずからも臨床で矯正、補綴にこの理論を実践しておられます。咬合診断に下顎運動記録やセファロを用いての臨床は圧巻です。かつてのナソロジーにおいておこなわれていたパントグラフもアキシオグラフに名前を変え進化して、本当に臨床に使えるようになりました。CR も記録位 (RP : リファレンスポジション) に名前をかせ、生理的な RP と病的な RP に区別して考えるようになりました。進化したナソロジー=オーストリアナソロジーの真髄をとくと実感してみてください。

テーブル 8

歯科技工士①

T-11 セッション1

● ジルコニアを加工する上で
● CAD・CAMに頼らない自由な
● 設計が可能なコピーミリングの実演
● 又次世代のジルコニア
● 「prettau」の紹介

檜田健幸

● 日本で著名な歯科医師と共に生体に適合した技工物を作製する技工士。マイクロスコープを用いてミクロレベルの精度の高い技工技術を日本に浸透させた第一人者。1974年より、桑田正博先生をはじめ、藤本先生、コロンビア大学歯科医師研修会など、多数の講演会や研修会のインストラクターを務めています。

歯科技工士②

T-12 セッション2

● 「下顎総義歯の吸着を達成するための
● 歯科技工」

小久保京子、阿部二郎

● 下顎総義歯の吸着のエビデンスを確立した阿部先生と小久保先生という最強タッグのクリニックです！今回は歯科技工士の小久保先生から、総義歯の吸着を得るために必要な技工作業のポイントを、ビジュアルに分りやすく解説していただけるようです。今回、二郎先生は黒子に徹するつもり？ いやいや、性格上黙ってられるはずがありませんので、いつものパワフルな二郎節もお楽しみに！

テーブル 9

補綴①

T-13 セッション1

● 補綴治療を行うにあたり
● おさえておきたい基本的なポイント

樋口琢善

● 日々の臨床で、樋口先生は正確な診断とインフォームドコンセントを重視した診療をご提供されています。治療に際しては、機能的な側面（幼児期からの予防による、正常な口腔機能の獲得と、歯列や咬合を改善させることによる様々な機能回復）と、美的な側面（明るい笑顔、白い歯、顔や表情と調和した美しく健康な口腔内のトータルケア）を重視しています。

補綴②

T-14 セッション2

● インプラント治療を含んだ
● 総合治療へのアプローチ

甲斐康晴

● 「30 症例で学ぶ エックス線診断を 100% 臨床で活用するには」の著者の一人。今回は、さまざまな目的の元にインプラントを行ったケースとその臨床経過を提示し、総合診療におけるインプラントの位置づけについて考察していただきます。

テーブル 10

補綴⑦

T-15 セッション1

● 支台歯形成の理論と臨床

小林 守

● 私たち歯科医とは切っても切り離せない分野が支台歯形成。歯周補綴からフルマウス・リストラクションの時代そしてインプラントの時代。マテリアルもセラモメタルからオールセラミックスそしてCAD/CAMと、時代は変われど支台歯形成はいつも重要な要素でした。これからも続くであろう大切な支台歯形成の基本と注意点を小林先生が解説します。若手ドクター必見です。

補綴⑧

T-16 セッション2

● ジルコニア審美修復治療の現況と展望

植松厚夫

スリーエムヘルスケア株式会社

● CAD/CAMのジルコニアを購入しようと思っている先生にぜひ聞いてほしいテーブルクリニックです。メーカーはどこがいいか？ 技工士との連携は？ 割れることはないの？ など疑問はたくさんあるでしょう。横浜の植松先生がジルコニアのハウツウとその利点と欠点、またその現況と展望について分かりやすく解説してくれます。

テーブル 11

経営①

T-17 セッション1

- Implant を用いた
- 咬合改善治療における
- 歯科用 CT の活用法

井上秀人

インプラント臨床において術前の状態が咬合異常をきたしているにも関わらず、咬合関係はそのままでインプラントの補綴を行ってしまっている場合が多い先生方も多いと思います。そこで今回井上先生にはこれからインプラントをはじめようと考えられている先生方も含め分かりやすく歯科用 CT をインプラントの埋入の診断だけではなく、頭蓋と下顎の三次元的に診断、噛み合わせのスレの診断に役立てる方法について症例を通してご紹介して頂きます。

経営②

T-18 セッション2

- 矯正歯科臨床における
- パラダイムシフト
- (医療の質と安全と環境の視点から)

佐藤英彦

矯正歯科臨床においては患者さんの協力は不可欠であり、その意識改革は必須の課題であり医療情報や診療データなど情報の共有の重要性は常識となってきているが、医療者と患者さんが対等の関係で情報交換し、医療の質の向上や安全の確保、環境の保全に協力してゆくことが大切と考えられている佐藤先生にこれらの観点から詳しく講演していただきます。

テーブル 12

インプラント・外科⑬

T-19 セッション1

- 抜歯即時埋入インプラントの
- 臨床及び基本手技

荒垣一彦

株式会社白鷺

日常臨床において、さまざまな理由により歯牙を抜歯せざるをえない時、抜歯と同時にインプラント埋入を行なうことは一度の手術ですみ、患者および術者双方の負担軽減、GBR、CTG のような複雑な処置の回避、治療期間の短縮など多くのメリットがあげられる。そこで今回は Zimmer dental 公認インストラクターでもある荒垣先生に上顎の前歯部、小臼歯部の審美領域や下顎の臼歯部における抜歯即時埋入の臨床例を中心にデモを通じて起始点の付与、ドリリング時の注意事項、グリップやレストなど基本的な手技について講演していただきます。

インプラント・外科⑭

T-20 セッション2

- 結合組織移植による根面被覆および
- Ridge Augmentation における
- 手技と使用器具の取り扱い方

勝部義明

株式会社茂久田

歯周外科においてマイクロスコープ下での鋭利な切開により、挫滅創をなくし、死腔を生じずに創面を一次閉鎖することにより、治癒の早さや、腫脹疼痛の少なさが可能となることから歯周外科手術のうちでも一次閉鎖を目的とした審美領域での処置に対して非常に有効であると考えられた勝部先生に今回マイクロスコープを用いて撮影した実際の口腔内の動画をを用いて解りやすく講演していただきます。非常に楽しみです。

テーブル 13

その他①

T-21 セッション1

- 咬合機能異常の歯科東洋医学的考え方

香江則明

「いつもの様にやってるのに」「なぜ治らない」そんなことは誰にでもあるはず。その処方箋がここにあるかもしれません。ストレス社会の現代に自律神経のアンバランスから患者の口腔疾患が起こることも少なくありません。そこで、東洋医学的アプローチで体のバランスを整え、歯科治療に反響させる方法を日本東洋医学会の香江先生にお話ししていただきます。

その他②

T-22 セッション2

- 歯科医師・技工士・衛生士が
- 知っておくと一生得する漢方薬の
- 選び方とツボの見つけ方

英保武志

多機能バキュームチップ Z00 の開発者として有名な英保先生が、漢方薬についてとてもためになるお話を熱く語ります。日常臨床で実際行っている漢方薬の選び方・体質の診断の仕方・漢方薬の飲み方や、ツボ・指圧の仕方も説明します。漢方薬やツボの知識は患者さんのためだけではなく、自分自身と家族のためにとでも役立ちます。知っておくと一生得するお話です。

テーブル 1

有料ハンズオン3

H-3

- 臨床にすぐに役に立つ実践的歯内療法
- ~JH エンドシステム~

平井 順

エンドのスペシャリスト、平井先生のテーブルクリニックです。JH エンドシステムの JH が、平井先生のイニシャルであることはつとに有名。そのオリジナル機材の充実ぶりからは、平井先生のエンドにかける熱意が沸々と伝わってきます。そして何よりも凄いのが、それらの機材を自在に操る先生の超絶テクニックです。百聞は一見にしかず。優れた機材と優れた技術から生み出されるスペシャルなエンドシステムに、あなたは息をのむことになるでしょう。

有料ハンズオン5

H-5

- 臨床にすぐに役立つ MTM
- -L ループを利用した前歯審美領域での
- エクストルージョンの臨床応用：
- ワイヤベンディングと
- アクチベート方法の実際

渡辺隆史

インプラントの全盛期の今日でも、残存歯根を利用した補綴治療のニーズは高いといえます。その際にエクストルージョンができると臨床上の強い武器になります。エクストルージョンの理論的背景と矯正力のコントロールを実習で行っていただけます。明日からの診療に役立つこと間違いなし。

テーブル 2

有料ハンズオン4

H-4

- 総義歯人工歯は、
- どこに、どのように排列するか。
- そして、どのように削合するか。
- ひとつの考え方である
- 「ゲルバーメソッド」の
- 臨床技工での私の実践。

堤 嵩詞

故アルバート・ゲルバー教授（スイス、チューリッヒ大学）直伝の「ゲルバーメソッド」の伝承者。究極の総義歯製作の世界的権威であり、芸術の域に達したとさえ評価されています。コンディロフォーム人工歯をコンディレータ咬合器で排列していただき、そのエキスを示していただけます。歯科医療者に必見のハンズオンです。

6月13日(日)

セッション3 9:15~10:45(90分)

セッション4 11:00~12:30(90分)

セッション5 13:30~15:00(90分)

セッション6 15:15~16:15(60分)

有料ハンズオン6

- H-6**
- デンタル スーチャリング
- 一歯科縫合の基礎と独習法
- 誰にも聞けなかった歯科縫合の基本を、見て・聞いて・実習する

申 基浩

ご存じ明海大学の歯周病科の教授で学識もさることながら匠の技術でも他の追従を許さないほどの腕前です。かつてはゴルフの腕前もシングルプレーヤーなみだったとか？でも今ではあまりの忙しさにゴルフは出来ないですが、その分クラブをメスに持ち替えて活躍中です。とくに上顎の結合組織を採取する技術は、優れたすし職人の魚をおろすよりも繊細に3枚おろしを作り真ん中の結合組織をきれいに長方形にとってこられます。今回は歯周外科の基礎の基礎、デンタルスーチャリングを学んでいただけます。

テーブル 3

偶発症②

- T-23** セッション3
- 下顎顎堤高度吸収症例へのデンタルインプラント手術にフォーカス：偶発症回避のためのチェアサイド・アナトミー

阿部伸一

明快で、楽しく、臨床に役立つ臨床解剖学レクチャーの第一人者です。下顎顎堤高度吸収症例においては、顎骨周囲・内部の神経、血管、筋、唾液腺組織の位置関係が大きく変化します。この状態が「透けて見えてくる」ようになるための講演の中から、歯科界の新分野「チェアサイド・アナトミー」をプレゼンテーションしていただけます。

T-24 セッション4

- 診査、診断（咬合と審美）を再考する①
- 「模型診断から咬合器装着まで」

藤井元宏

BPS（生体機能的補綴システム）認定医。咬合や義歯治療を得意とされる藤井先生は、今回は模型診断から咬合器装着までの審査、診断を再考された講演をしていただけます。

T-25 セッション5

- インプラント治療におけるPRGFシステムの有用性と臨床応用

塚原宏泰, 加藤嘉哉

佐藤歯材株式会社

東京のお茶の水でご開業されている塚原先生はヨクナルミーティングや一の会では押見一先生とともに中心的な存在です。押見先生と共同でプラキズムについても造詣が深く水戸黄門を押見先生にたとえれば、塚原先生は助さんや角さんというところでしょうか。今回は東京医科歯科大学口腔外科ご出身らしくインプラントについてご講演されます。先生はインプラント治療にPRGFシステムを幅広く活用され、ペリオとの併用治療やインプラントの骨造成にも利用されています。

T-26 セッション6

- ノンメタルクラスプデンチャー・エテショットの臨床
- ～審美性の良いパーシャルデンチャーを求めて～

村岡秀明

株式会社アイキャスト

いま巷で話題の、金属製のクラスプがない審美的なパーシャルデンチャーです。部分床義歯が患者さんから嫌われる理由の一つが、このピカピカ光るクラスプ。誰も自分が義歯を入れていることを、他人に悟られたくないものです。そこで注目されているのが、新しい弾性素材を金属クラスプの代わりに使ったノンメタルクラスプデンチャーです。村岡先生の義歯へかける情熱はとどまるところを知りません。きっと、いつもの熱くて楽しい話が聞けるはずですよ。

テーブル 4

歯内療法(エンド)③

- T-27** セッション3
- 根尖病変を治癒に導くポイント

倉富 覚

2008年3月に行われた第32回北九州歯学研究会では、「歯牙移動を用いた歯周組織の改善への取り組み」と題して講演。素晴らしい症例の完成度と考察に、会場から賞賛の声があがったそうです。最近では『日本歯科評論』でもエッセイをご執筆されるなど活躍中の先生です。

歯内療法(エンド)④

- T-28** セッション4
- 少しでも楽をしよう！根管拡大・形成
- Ni-Ti ロータリーファイル・プロテーパーを使用して-

菅崎直身

東北の重鎮、菅崎先生の登場です。今回は、手間と時間がかかって大変なエンドを、機械の力を借りて楽々やっておまうというむしのいい話？いやいや、歯科臨床の隅々までなちっこくこだわる菅崎先生のことですから、きっとサプライズな裏技が披露されるに違いありません。Ni-Ti ファイルがすぐ折れちゃう先生、リーミングで指がつつちゃう先生、全員集合!!

歯内療法(エンド)⑤

- T-29** セッション5
- 包括治療における歯内治療について再考する

吉川宏一

歯内一歯周治療の専門家 JIADS 講師の吉川先生。包括歯科治療において、歯内治療、歯周治療の目的は、歯根膜を含む健全歯周組織の改善である、という視点から。今回は歯内一歯周治療において、歯内療法からのアプローチを中心に解説していただけます。

歯内療法(エンド)⑥

- T-30** セッション6
- E80 エンドシステムを使用した歯内療法
- Endodontic treatment using E80 end system

山下保彦

審美・インプラント・マイクロスコープなどが華やかなりし現代の歯科臨床なれど、日々我々が直面するほとんどの臨床はリーマー・ファイルを使ったエンドの地味な仕事です。そんな暗い仕事を少しでも楽しくするため、愛知県の下山先生がE80 エンドシステムを紹介してくれます。エンドが嫌いなあなた、インプラント大好き人間になるかもしれませんよ。

テーブル 5

インプラント・外科③

- T-31** セッション3
- おさえておきたい！基本的なインプラント周囲のソフトティッシュマネージメント

田中憲一

天然歯とインプラントの周囲組織の相違点を考えた場合、インプラント周囲にも不動の角化歯槽粘膜が存在する方が有利であると考えられます。実際の臨床では、部位や術前の状況に応じて角化歯槽粘膜を獲得するためのアプローチを行うことが多いといえます。今回は二次手術を中心に基本的なソフトティッシュマネージメントについて私見を含めて述べていただけます。

インプラント・外科④

- T-32** セッション4
- 明日からできるインプラントティッシュマネージメント
- 一組織学的見知から臨床テクニックを考える

吉松繁人

前歯部のインプラント治療。「こんなはずではなかった」と頭を抱えたことはありませんか？失敗には必ず原因があるはず。福岡の新進気鋭である吉松先生が答えを教えてください。前歯部インプラントの審美修復における軟組織と硬組織のティッシュマネージメントについてお話しいただけます。これであなたも前歯部のインプラントに自信が付きます。

インプラント・外科⑤

- T-33** セッション5
- 自らが開発した粘膜骨膜弁開窓器のインプラント臨床での使用法
- 骨増生補助器具の使用法-

矢野尚一

「この患者は口が小さい」「見えない」インプラントのオペでそんなふうになったことはありませんか？オペには注水と吸引のため4ハンドでも粘膜を牽引しながらの骨切削は、熟練者でもなかなか難しいものです。そこで反転したフラップを保持する「フラップホルダー」を矢野先生がオリジナルに開発してくれました。その有効性と周辺器具の操作方法についてお話しできます。

インプラント・外科⑥

T-34 セッション6

- 安心、安全を目指して
- ピエゾテクニックを応用した
- サイナスフロアエレベーション

馬場正英

上顎インプラント治療に欠かせない方法になりつつあるソケットリフト法ですが、「もしかしたら穿孔した?」と思ったことはありませんか? そんな先生にお勧めのテーブルクリニックです。福岡の馬場先生に「安心・安全を目指して」と題して、ピエゾテクニックを応用した膜穿孔リスクの少ない、クレストルアプローチによるサイナスフロアエレベーションについてお話いただけます。

テーブル 6

インプラント・外科⑨

T-35 セッション3

- 歯周・インプラント外科手術に必要な
- 縫合の基本知識テクニック
- これで解決・上達に必要な
- 縫合の理論と実践

辰巳順一

明海大学歯周病講座の辰巳先生は、同じく明海大学歯周病講座の申 基浩教授のもとで研鑽を積んでおられます。また認定医運営委員会では歯周病のチャートや認定医試験では試験問題を作られたりして、学会に貢献されています。これからインプラントを始めようとする先生方は、インプラント手術をおこなう前にじゅうぶんな歯周外科手術の取得は必要条件です。今回は歯周インプラント外科手術において必要な基礎知識について語っていただき、どなたでも縫合の上達者になれるよう親切丁寧に指導してくれます。

インプラント・外科⑩

T-36 セッション4

- インプラント治療における
- ピエゾエレクトリック
- デバイスの有用性

森田耕造

超音波を用いた軟組織に触れても組織を損傷することがなく、硬組織を選択的に切削する骨切削器具、ピエゾエレクトリック デバイスを用いてかなり術者のスキルが問われる上顎洞挙上術では上顎洞粘膜への穿孔を回避することができ、安全で確実、時間も短縮でき患者の負担軽減に役立てられることからピエゾエレクトリック デバイスの有用性を臨床床例を提示して講演していただけます。

インプラント・外科⑪

T-37 セッション5

- インプラント・歯周治療と矯正治療の
- インターディシプリナリー
- ~咬合の長期安定を目指して~

丸谷純一郎, 山地正樹

咬合機能を長期間安定させたいと思う気持ちは私たち臨床家の共通の目標であると思います。そこで今回はお二人の先生に個々の歯牙を適正な位置へ移動させる矯正治療、基本的ですが歯周治療とメンテナンス、欠損部に対する Top-down Treatment に基づくインプラント治療等のインターディシプリナリーにより、好結果を得られたと考えられる症例を発表して頂きたいと思います。

インプラント・外科⑫

T-38 セッション6

- 精密・正確・緻密な歯科治療をもとめて
- ~顕微鏡・CTをもちいて~

貞光謙一郎

株式会社ジーシー

とにかく、何ごとにもマニアックにこだわる奈良の貞光先生からは目が離せません。今回は、マイクロスコープやCTといった最新の高性能な武器? から繰り出される貞光マジックを、とくと拝見することにいたしましょう。ただしギャラリーは命の危険があるので、防弾チョッキ着用のこと! ? でも、危ないものほど見たいですね。何が飛び出すかわからない貞光先生のテーブルは、何はともあれ注目ですよ!

テーブル 7

T-39 セッション3

- 上顎のインプラント処置

林 揚春

株式会社マイクロテック

日本を代表する抜歯即時埋入の第一人者で、今や知らない人がいないほど著名なスーパーインプラントロジスト・林 揚春先生が、上顎多数歯インプラント処置のポイント、各外科術式の注意点、またオーバーデンチャー使用での新しいインプラントアタッチメントについてデモを交えて解説いたします。乞うご期待です!

歯科衛生士②

T-40 セッション4

- ~フェイスニング®(表情筋トレーニング)
- を取り入れた美しい
- スマイルラインづくりの実際~
- 実践・印象的なパワースマイルを
- 手に入れる方法を教えます!

野玉真紀

当学会では有名な野玉先生ご夫妻です。美しい笑顔は、健康のパロメーター。歯科治療により審美性を回復したスマイルラインとともに、表情筋をトレーニングすること(フェイスニング)で、美しい笑顔を獲得できます。フェイスニングを自ら体験し実践することで、美しく、愛される表情と口元を手に入れましょう。

T-41 セッション5

- スタッフと共に進むのか
- 離れていくのか、ワシの非科学的基準
- 50歳前に想う歯科医院経営の本質

吉永 勉

院内スタッフを一つのチームとして、お互いが日々切磋琢磨しつつうまくマネージングするなんて、一度でもスタッフとのトラブルを経験したことのある院長なら、夢のような、ノドから手が出るほど欲しい院内環境でしょう。吉永先生はご自身の豊富なご経験から視えてきた経営の本質を非科学的と称されますが、どうしてどうして。苦勞の解る吉永先生ならではの「歯科医院総務部人事課」のウンチクを傾けたお話を、ご同輩! じっくり拝聴しようじゃありませんか。

T-42 セッション6

- 日常歯科臨床における
- 歯科用CTの活用

寺西邦彦

東京 SJCD 顧問、赤坂会顧問、東京 OSI 主催として、常に日本の歯科界を牽引してきた、バイオニア的存在である寺西 邦彦先生のご登壇です。今回は歯科用CTをインプラントの術前診断や治療計画に用いるだけでなく、それ以外の一般的な日常の歯科臨床の診断にどのように有効に活用するかについて、症例を交えて分かりやすくご教授頂きます。

テーブル 8

歯科技工士③

T-43 セッション3

- インプラント技工に生かす
- ミリングテクニック

中島清史

インプラントをメインとしたCAD/CAM、シリコニア、プロセラ、審美補綴、義歯、アタッチメント、ミリング、金属床を製作する、総合的な歯科技工所「有限会社 KN デンタルラボラトリー」の代表を務めておられます。

歯科技工士④

T-44 セッション4

- 破折防止を考慮した
- 進化型インプラントフレームにおける
- インターナルライブ(内部)
- ステインテクニックを用いた色調再現

渡辺一史

ポーセレンを用いて地球上のあらゆる物の再現を可能にする、そんなな神の手を持つ伝説の技工戦士・渡辺一史先生が、いよいよ東京フォーラムに降臨します! インプラント補綴における、長期予後を考慮した独自の進化型インプラントフレーム設計の究極奥義と、神を超越した氏のスーパー内部ステインテクニックが炸裂します。次世代インプラント技工の新たな歴史の幕開けです。この貴重なご講演をぜひお見逃しなく!

歯科技工士⑤

T-45 セッション5

● 抜歯即時埋入における技工テクニック
● 上原芳樹

株式会社白鷗

● 抜歯即時埋入というテクニックは、ミニマムな治療を行う上で、非常に効果的な治療方法だと考えられます。そこで最終補綴物を審美的に回復するためには、埋入後から最終印象までの期間が重要なポイントになります。そこで今回は上原先生に抜歯即時埋入後のオペイドポンティック→二次オペ後のプロビジョナルレストレーション→ファイナルレストレーションの形態の与え方、そしてその考え方を中心に、予後の経過観察から気づいた点などを踏まえて分かりやすく講演していただきます。

歯科技工士⑥

T-46 セッション6

● カスタムアバットメントからフルブリッジまで、ジルコニア・チタンの素材長所を生かし、適合精度向上を追求したインプラント上部構造
● 関 聖生

● インプラント上部構造が口腔内で不適合となる原因を考察するとチェア・サイド・技工サイドそれぞれに、多様な要素が存在するなか技工サイドでの適合の目安は模型上でのパッシブフィットであるが、インプラントの本数が増すごとに模型上と同様のフィットが口腔内で得られないケースが増加する傾向にある。そこで今回は関先生にパッシブフィットさせる方法として、インプラント体プラットホームと上部構造体との接合部にチタンアバットメントシリンダーを使用する方法を、チタン上部構造とジルコニア上部構造を取り上げ、単冠からフルブリッジまで、いくつかのケースで分かりやすく紹介していただきます。

テーブル 9

補綴③

T-47 セッション3

● オールセラミックレストレーションの選択基準を学術的に考察する
● 羽田詩子

● 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科補綴学分野 講師。日本補綴歯科学会(専門医、指導医、東海支部代議員)、日本歯科審美学会(認定医)、岐阜歯科学会、日本歯科理工学会、日本顎咬合学会、International Association for Dental Research など、多方面でご活躍中の先生。

補綴④

T-48 セッション4

● 下顎総義歯吸着印象の実践
● 一吸着の確率を上げるために一
● 佐藤勝史

● 下顎総義歯を吸着させることの難しさは、歯科医師ならだれしも実感していることと思います。今回は、総義歯吸着オタク?として鳴らす佐藤勝史先生が、いままでの研究成果をふまえて総義歯吸着を実践するためのノウハウを惜しみなく披露してください。とくに無歯顎の方を招いての印象の実演は、そうそう見られるものではありません!よく見たい方は早めに陣取ってくださいね。

補綴⑤

T-49 セッション5

● 審美歯科の基本手技を得るためのノウハウ
● 小松智成

● 北九州歯学研究会, JACD, 日本審美歯科協会, 日本臨床歯周病学会, 日本歯周病学会など多方面でご活躍中の先生。『Reliable Dentistry Step1 ~歯内治療・初期齶蝕・歯周治療・臼歯部の補綴治療』の著者。

補綴⑥

T-50 セッション6

● 審美補綴のための支台歯形成と印象採得
● 大村祐進

● 米国 3i インプラント公認インストラクター、北九州歯学研究会、日本審美歯科協会、J.A.C.D.A.A.P. (アメリカ歯周病学会)、日本口腔インプラント学会など、幅広く活躍されています。特に、審美歯科、インプラント、歯周再生療法などの先端医療については、多くの治療例を誇り、また、これらの分野に関する講演を数多く行い、多くの論文も執筆されています。

テーブル 10

補綴⑨

T-51 セッション3

● 支台築造の基礎と臨床快適で持続可能な臨床を求めて
● 堤 春比古

● いくらインプラントの時代だと言っても、実際の臨床では圧倒的多数の失活歯の修復。歯根破折をおこさず、歯をいつまでも永く患者さんに使っていただくために支台築造は最重要課題です。「補綴」の堤先生にメタルコアからファイバー、基礎的事項からその応用と幅広くまとめてお教えいただけます。明日からの臨床に役立つこと間違いなし。若手ドクター必見です。

補綴⑩

T-52 セッション4

● Direct Bonding
● ~前歯部のレイヤリングと形態修整~
● 大谷一紀

株式会社トクヤマデンタル

● ダイレクトボンディングによる修復は、接着材やコンポジットレジンに進歩によって、その耐久性や審美性を飛躍的に高めてきています。ただ、そのような高性能な材料を使ったとしても、使いこなすテクニックがなければ思うような結果が得られないというところに、このダイレクトボンディングの難しさがあります。今回はダイレクトボンディングの魔術師、大谷先生に、レイヤリングテクニックを中心とした審美充填の勘所を余さず見せていただきます。どうも色が合わない、とお悩みの先生、必見です!

補綴⑪

T-53 セッション5

● 咬合採得のエラーから学ぶ
● ~歯科医師編・歯科技工士編
● 山影俊一

カポデンタルシステムズジャパン株式会社

● 今回は咬合採取について語っていただきます。特に口腔内の咬合調整量をいかに少なくするか?また咬頭咬合位の再現性をどのように工夫するか?必見です。KAVOのプロトタイプを使った新たな展望が開ける可能性があります。興味深い話も聞けるかもかもしれません。

山口周行

● Kavo セミナーでは山影先生とタグを組み、チェアサイドとラボをつなぐジョイント・エボリューションと称して補綴臨床と咬合についてご講演されています。チェアサイドとラボサイドの共通認識と、相互理解によるスムーズな治療進行により、患者様の負担が軽減し、メンテナンスが容易で耐久性の良い補綴物製作のアプローチが可能になります。

T-54 セッション6

● アジスロマイシンと AMPH シロップ製剤を併用した歯周内科治療
● 岡部俊一

● 歯周内科治療の診断に不可欠な位相差顕微鏡の使用法と診断の実際について、デモンストレーションを交えながら解説していただくことになっています。また、リアルタイム PCR 法による細菌検査を用いた研究結果やその他の国内外の論文など、歯周内科治療のエビデンスについてもお聞きできます。

テーブル 11

T-55 セッション3

● マイクロスコープの活用法
● 中田典光

株式会社モリタ

● 「百聞は一見に如かず」と言いますが、「見える」ことがどんなに歯科臨床にとって重要なことかをマイクロスコープは我々に教えてくれました。茨城県開業の中田先生にマイクロスコープの有用性についてお話しいただき、その「見て治療する世界」をテーブルクリニックで疑似体験していただきます。これであなともマイクロスコープを欲しくなること間違いなし。

T-56 セッション4

● CT で検証する、サイナスリフトの知られざる真実
● 野阪泰弘

株式会社モリタ

● ご自慢のあごひげが特徴的な先生は、神戸で開業されておりインプラントがご専門です。インプラントの埋入の技術や直後の写真を数多く出されている先生方はいっぱいいらっしゃいますが、先生は術後の経過観察にモリタの 3DX CT 撮影装置できっちり検証されています。特にサイナスリフト後の造骨した所や上顎洞に突出したインプラントフィクスチャーがどうなっているのか?それも1週間後、数ヵ月後、数年後と連続的に撮影し、上顎洞の内部分がどのように変化していくのかが見せていただけます。まさに非常に興味しんしんです。

T-57 セッション5

- CAD/CAM を用いた
- 審美修復治療を行うにあたり、
- チェアサイドでなすべきこととは…
- -Seeing is believing-

六人部慶彦

株式会社モリタ

● 審美歯科修復に欠かせないオールセラミッククラウン。その主流になりつつあるのが CAD/CAM ですが、その実際の応用は意外と難しいってご存知ですか？ プロビジョナル・プレパレーション・技工作業など従来の修復と微妙に違います。大阪の六人部先生に CAD/CAM を用いた審美歯科修復について、細部にわたりお話しいたします。技工士さんにもお勧めです。

T-58 セッション6

- DAICOMデータで広がる
- 歯科臨床の可能性
- -歯科臨床と 3DX-

中川孝男

株式会社モリタ

● 故保母前会長の国際デンタルアカデミーご出身で研修部長を歴任されたまさに故保母先生のお弟子です。現在は東京表参道にてご開業されています。モリタの 3DX もいち早く導入されインプラント、エンド、埋伏歯の確認などさまざまな用途に使用されています。最近ではダイコムデータよりさまざまな歯用 CT のソフトを活用され 3D 画像を製作されています。先生はコンピューターに詳しくウインドウズからマックまですべてを使いこなし、院内の Lan もご自分で曳きシステムを構築するというまさにデンタルエンジニアです。

テーブル 12**インプラント・外科⑬****T-59** セッション3

- 「This is ピエゾサージェリー」
- ~臨床応用のテクニックと注意点~

小川勝久

株式会社インプラテックス

● 東京は天王洲というモノレールが行きかう近未来都市的な場所でご開業されています。先生の本でベストセラーになった「審美領域におけるインプラント治療を考える」はあまりにも有名です。また、デンタルダイヤモンド誌の連載歯科臨床次の一手では失敗例も出されています。講演をじっくりと聞かせていただくと成功症例も見事ですが、他の医院の失敗例をリカバリーして見事に仕上げたり、非常に正直な性格がうかがえます。今回はピエゾサージェリーを用いた臨床の応用テクニックや注意点をお話いただけます。

インプラント・外科⑭**T-60** セッション4

- インプラント即時修復の臨床術式

近藤尚知

株式会社ジーシー

● インプラント埋入時に確実な初期固定を得ること、埋入後に装着する暫間補綴物の形態をいかに決定して作製するか、インプラントにかかる咬合負荷をいかにして軽減するかがインプラント即時修復の課題となってくることはお分かりだとは思いますがさらに本テーブルクリニックにおいては、ナビゲーションシステムを用いて、暫間補綴物の形態とインプラントの埋入位置及び方向を決定する方法も紹介する予定です。必見です。

T-61 セッション5

- 2-Implant OverDenture
- ~総義歯のパフォーマンスを高める
- 新しいテクニック~

亀田行雄

株式会社ジーシー

● 無歯顎に対する補綴は、従来からの総義歯にインプラント補綴が加わり、そして今、その複合型ともいべきインプラントオーバーデンチャーが脚光を浴びています。無歯顎患者に対する治療法の選択肢が増えることは、患者にとっても術者にとっても大きな福音ですが、いくつかの術式が複合された治療法は、各々の術式全てに習熟していなければなりません。そこで、川口でご開業のジョーカー亀田先生の登場です！「かめちゃん」の愛称で親しまれる温厚な人柄ながら、その豊富な知識と幅広い技術は、ジョーカーのごとくオールマイティー、かつハイレベルな歯科医療を生み出すのです。これは見ないと損しますよ！

補綴⑭**T-62** セッション6

- 総義歯治療を楽しくさせる
- BPS (生体機能的補綴システム)
- 「セントリックトレーとナソメーターMを体験しませんか」

**佐藤貴映, 佐藤幸司
吉木邦男**

● 当学会常任理事の吉木先生と佐藤幸司先生のお二人は、BPS を日本に普及させた第一人者です。総義歯補綴を楽しくするためには、理論と手技の一体化が重要です。セントリックトレーとナソメーターM を体験することで「総義歯名人」に近づけるかもしれません。

テーブル 13**認定医教育セミナー****N-1** セッション3, 4

- 咬合診断の第一歩
- 1分で出来るフェイスボウ・
- トランスファー

武井順治

認定審議運営委員会

- 株式会社浅野歯科産業
- 白水貿易株式会社
- フィード株式会社
- 株式会社茂久田
- 株式会社ヨシダ

(五十音順)

● 横浜でご開業の武井先生は Dr フコエの普光江洋先生と一緒に ISF という研究会を設立され、オーストリアナソロジーを 20 年前から伝道してきています。最近では日本人の理想的な歯列の人の歯のガイド角を調べた論文を書かれています。それによると犬歯の誘導角が最も急峻で次に第一小臼歯、第二小臼歯、第一大臼歯、第二大臼歯とだいたいゆるくなり順次性があるというシークエンシャル咬合を理論的に証明しています。今回は咬合平面を決定する要素としてフェイスボウトランスファーを解説と実技を行っていただきます。

T-63 セッション5

- 子供たちの歯列成長促進のため
- -かむトレーニングガムの有効活用-

葛西一貴

株式会社モリタ

● あるバーガーショップにて、ハンバーガーを食べている人々を観察したら、一口かじって飲み込むまでに 2~3 回しか噛んでいなかった。そう、現代の食生活は噛まなくて済むものばかりになってしまったのです。これでは、顎口腔機能や成長発育に問題が出て当然です。演者の葛西教授は、現代の口腔を取り巻く環境を改善するために、子供たちにガムを使って咀嚼トレーニングを実施し、素晴らしい成果を上げていらっしゃいます。「しっかり噛んで食べる」という食生活の基本を習慣化させる取り組みは、治療から予防へとシフトしている歯科界のこれから向かうべき一つの方向性を示唆しているはず。葛西教授の目指す方向に注目です！

T-64 セッション6

- 患者との
- コミュニケーションに役立つ人間学

中村順三

● 最近の患者様の特徴は、口腔内に直接的な原因がなくても症状を呈する患者が増加していることです。ストレス社会の到来がその原因とひとつと考えられます。当学会の北海道支部のリーダーである中村先生には、「人間学」に基づいて患者様も歯科医療人も自己を高め、幸福に生きる術をご披露いただきます。今後、歯科界に重要な分野の 1 つであること間違いないし。

日本顎咬合学会メディア・センターの設立

理事長 山地良子

日本顎咬合学会では、情報化社会における学会活動の強化を主目的として、学会誌の充実、教育研究活動の活性化、次世代の人材育成やメディアコンテンツの提供機能強化等、情報メディア環境の整備・充実をはかるために、このたび学会事務所内に「メディア・センター」を設立しました。これにより、既存組織の統合化推進や、従来、別々に行われてきた会員サービスの効率化や、情報メディア時代に即応した新たな事業の企画実行がより一層のスピード感を持って提供することが可能となりました。

また、将来的には、遠隔教育やインターネットを活用した双方向授業やテレビ会議システムなど、学会における情報コアセンターとしての機能も期待されています。

なお、初代センター長には株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズの前参与、佐山安夫氏が就任いたしました。

同センターと会員各位の新たなインターフェイスとしてご活用頂けたら幸いです。

情報発信とメディアの可能性を求めて

メディア・センター センター長 佐山安夫

新設された「メディア・センター」の役割は山地理事長の一文をご覧いただければおわかりのことと思いますが、私はセンター長として、本学会の成果を印刷物をはじめ考えられうるおおよそあらゆる可能性を通じてひろく歯科内外に情報発信してゆく役目を担うこととなりました。時代が大きな転換期にあるいま、歯科界と社会とのかかわりにも変化が求められています。これまで30数年にわたり培った編集経験を生かして、当学会を通じ新しい風が送り込めたらと願っています。また、会員の皆様のお声を積極的に活動に反映させていきたいと考えておりますので、提言、ご意見などどしどしお寄せいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第11回

咬合フォーラムのご案内

テーマ：咬合高径を決める！！

- 講師：** 1) 佐藤 貞雄
(神奈川歯科大学歯科矯正学分野 教授)
- 2) 吉木 邦男 (名古屋市開業)
- 3) 南 清和 (大阪市開業)

開催日時： 2010年11月14日(日)

会場： 東京国際フォーラム ホールB7
東京都千代田区丸の内3-5-1
TEL: 03-5221-9000

日本顎咬合学会

海外研修ツアーのご案内

**American Academy of
Esthetic Dentistry 35th Annual Meeting**

会場 マウイ島(ハワイ)
ザ・リッツ・カ-ルトンカパルア

開催 2010年8月3日～8月8日

日本顎咬合学会学術委員会では、昨年に引き続き海外研修を企画致しました。

AAED(アメリカ審美歯科協会)は著名な臨床家が集まる学会で先生方が国内だけでなく海外にも赴く機会になればと、また会員同士の懇親を深める場として企画致しました。この学会の特徴として、リゾート地で開催する意味は午前(早朝)より学会が始まり、午後は演者の先生方と一緒にアクティビティが楽しめる学会です。ぜひご参加お願い致します。

参加ご希望の方は

日本顎咬合学会事務局までお尋ね下さい。
TEL.03-6683-2069

日本歯科医師会生涯研修登録について

**学術大会に
ICカードを
お持ちください!!**

6月12日・13日開催の第28回学術大会参加の際には、日本歯科医師会ICカードを忘れずにお持ちください。

学会受付のパソコンで登録を行っていただけます。

当日ICカードをお忘れの場合は、後日ご自分で日本歯科医師会E-systemより登録していただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

事務局からのお知らせ

年会費納入のお願い

平成22年度年会費の納入がまだお済みでない方は、至急お振込みをお願い致します。

また、過去に年会費の未納分がございますと、認定医試験、認定医の更新、学術大会等への参加ができませんのでご注意ください。

学会ホームページ (<http://www.ago.ac/>) 左下「年会費のお支払い」より、コンビニ・郵便振替による振込み、もしくはクレジットカード払いがご利用できます。

勤務先・自宅・改姓・他、変更届提出のお願い

事務局からの発送物は郵便およびメール便を利用しておりますが、住所不明で多数戻ってきております。また、メール便の場合は転送されませんのでお届けできない場合もございます。

勤務先の変更、転居等登録内容に変更が生じた場合は、至急事務局までご連絡下さい。

登録変更は、学会ホームページの「会員名簿変更」または学会誌に綴じ込みの「変更届」用紙を用いて学会事務局までFAXをお送り下さい。

平成22年度 各支部の事業計画(案) (自 平成22年4月1日～至 平成23年3月31日)

支部名	区分	開催日	会場	内容・講師等
北海道	認定研修会	22年10月17日(日)	北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス	テーマ「咀嚼、咬合と全身機能について考える」 細川 隆司 先生 (九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野教授) 鈴木 哲也 先生 (岩手医科大学歯科補綴学第一講座教授)
	学術大会	23年3月6日(日)	北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス	詳細未定
東北	認定研修会	22年10月2日(土)	宮城県歯科医師会館	テーマ「咀嚼、咬合と全身機能について考える」 細川 隆司 先生 (九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野教授) 鈴木 哲也 先生 (岩手医科大学歯科補綴学第一講座教授)
	学術大会	22年10月2日(土) 3日(日)	宮城県歯科医師会館	テーマ「みんなで創る元気な歯科医院 一人に付けよう!臨床のBASIC 目指そう!チーム医療のレベルアップ」 特別講演: 普光江洋 先生 技工士部門講演会: 石川 功和 先生
		23年3月(予定)	山形県開催	詳細未定
関東 甲信越	認定研修会	22年9月26日(日)	日本青年館中ホール	テーマ「咀嚼、咬合と全身機能について考える」 細川 隆司 先生 (九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野教授) 水口 俊介 先生 (東京医科歯科大学全部床義歯補綴学分野教授)
	学術大会	開催せず	—	—
中部	認定研修会	22年12月4日(土)	名古屋国際会議場	テーマ「咀嚼、咬合と全身機能について考える」 細川 隆司 先生 (九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野教授) 鈴木 哲也 先生 (岩手医科大学歯科補綴学第一講座教授)
	学術大会	22年12月5日(日)	名古屋国際会議場	詳細未定
近畿 中国 四国	認定研修会	23年2月13日(日)	大阪国際交流 センター	テーマ「咀嚼、咬合と全身機能について考える」 細川 隆司 先生 (九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野教授) 水口 俊介 先生 (東京医科歯科大学全部床義歯補綴学分野教授)
	学術大会	22年10月31日(日)	大阪国際交流 センター	テーマ「根管治療を再考する」 特別講演: 木ノ本 喜史 先生
九州 沖縄	認定研修会	22年8月1日(日)	福岡県歯科医師会館 大ホール	テーマ「咀嚼、咬合と全身機能について考える」 細川 隆司 先生 (九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野教授) 水口 俊介 先生 (東京医科歯科大学全部床義歯補綴学分野教授)
	支部主催 認定研修会	23年2月頃	沖縄県内会場	テーマ「咬合採得をマスターしよう 第2回」 講師: 寺西 邦彦 先生
	学術大会	未定	福岡県歯科医師会館 大ホール	詳細未定